

# ほくよう 調査レポート

No.259

- 道内経済の動き
- 道内企業の経営動向調査  
(平成29年10～12月期実績、平成30年1～3月期見通し)
- トップに聞く⑦ 株式会社 アジア地域連携研究所  
代表取締役 所長 黒河 功 氏  
専務取締役 中村 正士 氏
- タイにおけるお客さまサポートの取組みについて
- 「第4回ものづくりスペシャリスト表彰」について
- 経済コラム 北斗星  
「北海道」命名150年の節目の年を  
迎えて

● 目 次 ●

|   |    |
|---|----|
| 道内経済の動き   | 1  |
| 定例調査：道内企業の経営動向調査  | 6  |
| 経営のポイント：人件費・原材料価格・燃料費などの<br>コスト増加への対応が課題に                             | 15 |
| 道内企業訪問：トップに聞く⑦<br>株式会社 アジア地域連携研究所<br>代表取締役 所長 黒河 功 氏<br>専務取締役 中村 正士 氏 | 18 |
| アジアニュース：タイにおけるお客さまサポートの<br>取組みについて                                    | 23 |
| 寄稿：「第4回ものづくりスペシャリスト表彰」について  | 26 |
| 経済コラム 北斗星：「北海道」命名150年の節目の年を<br>迎えて                                    | 31 |
| 「北海道どさんこプラザ」マーケット情報   | 32 |
| 主要経済指標  | 33 |



# 道内経済の動き

道内景気は、緩やかに回復している。生産活動は一進一退の動きとなっている。需要面を見ると、個人消費は、新車販売台数が減少に転じたものの、大型小売店販売額が前年を上回るなど、緩やかに持ち直している。住宅投資は、緩やかに減少している。設備投資は持ち直し基調が続いている。公共投資は、基調として持ち直している。輸出は緩やかに持ち直している。観光は、外国人入国者数が好調を維持している。

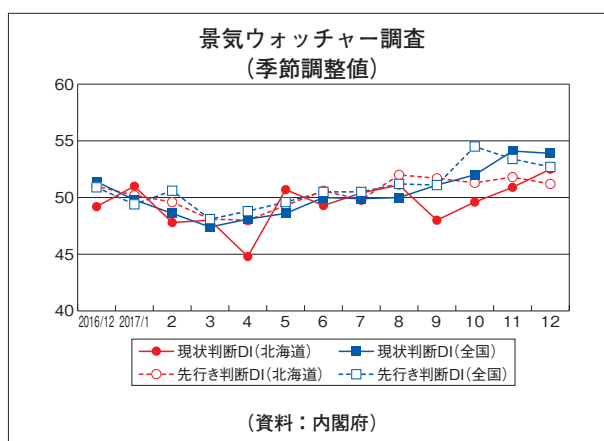
雇用情勢は有効求人倍率の改善が続いている。企業倒産は件数が前年を下回った。消費者物価は、12か月連続で前年を上回っている。

## 1. 景気の現状判断DI～3か月連続で上昇

景気ウォッチャー調査による、12月の景気の現状判断DI（北海道）は前月を1.6ポイント上回る52.5となり、3か月連続で上昇した。また、横ばいを示す50を2か月連続で上回った。

景気の先行き判断DI（北海道）は、前月を0.6ポイント下回る51.2となり、横ばいを示す50を5か月連続で上回った。

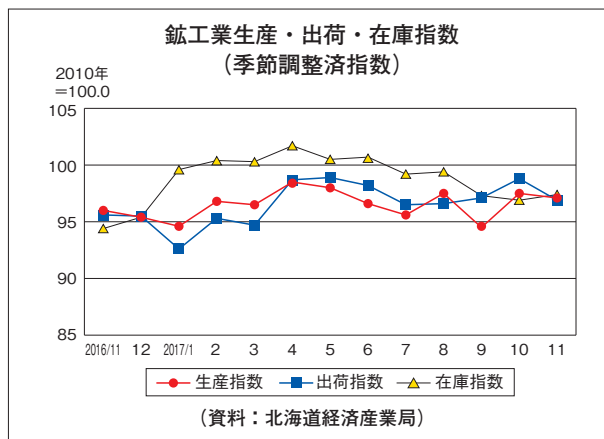
なお、1月12日に季節調整値の改定がなされ、前月も含め、過去の数字が変更となっている。



## 2. 鉱工業生産～2か月ぶりに減少

11月の鉱工業生産指数は97.1（季節調整済指数、前月比▲0.4%）と2か月ぶりに減少した。前年比（原指数）では+1.2%と2か月連続の上昇であった。

業種別では、電気機械工業等7業種が前月比低下、金属製品工業等の9業種が前月比上昇となった。

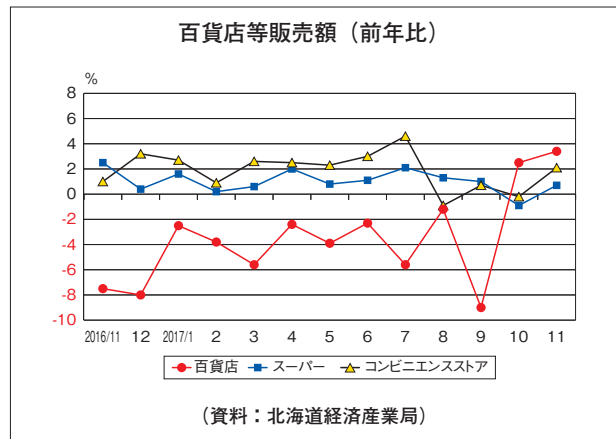


### 3. 百貨店等販売額～3か月ぶりに増加

11月の百貨店・スーパー販売額（全店ベース、前年比+1.4%）は、3か月ぶりに前年を上回った。

百貨店（前年比+3.5%）は、衣料品、身の回り品、飲食料品、その他のすべての品目で前年を上回った。スーパー（同+0.8%）は、2か月ぶりに前年を上回った。品目別では衣料品、その他は前年を下回ったものの、身の回り品、飲食料品は前年を上回った。

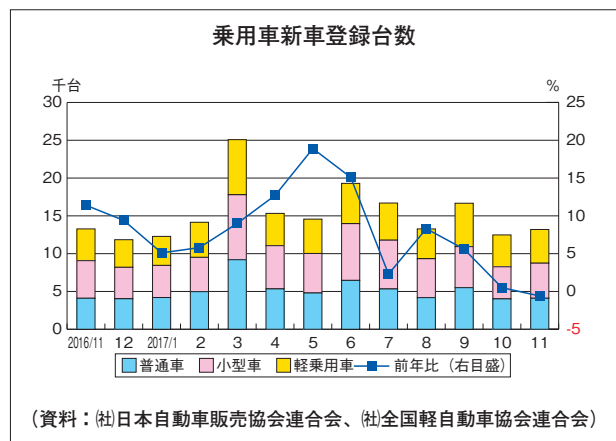
コンビニエンスストア（前年比+2.2%）は、2か月ぶりに前年を上回った。



### 4. 乗用車新車登録台数～16か月ぶりに減少

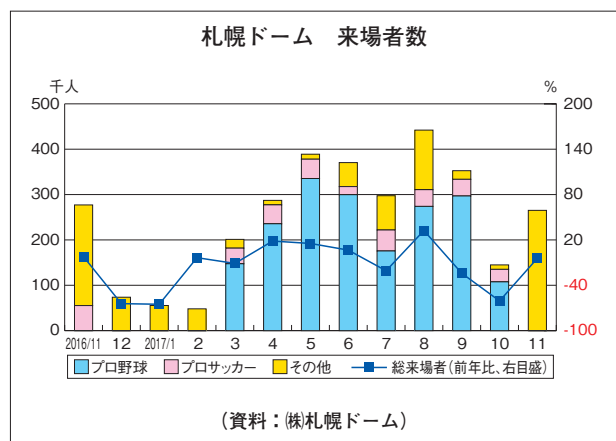
11月の乗用車新車登録台数は、13,198台（前年比▲0.6%）と16か月ぶりに前年を下回った。車種別では、普通車（同+0.1%）と軽自動車（同+6.1%）が前年を上回ったが、小型車（同▲6.8%）が前年を下回った。

4～11月累計では、121,511台（前年比+7.9%）と前年を上回っている。普通車（同+3.0%）、小型車（同+8.6%）、軽乗用車（同+12.6%）といずれも前年を上回っている。



### 5. 札幌ドーム来場者～3か月連続で減少

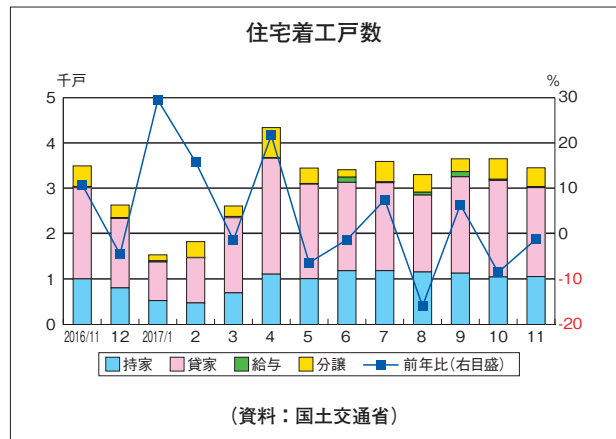
11月の札幌ドームへの来場者数は、265千人（前年比▲4.3%）と3か月連続で前年を下回った。内訳は、プロ野球およびプロサッカーは試合が無く、その他が265千人（同▲4.3%）だった。



## 6. 住宅投資～2か月連続で減少

11月の住宅着工数は、3,455戸（前年比▲1.2%）と2か月連続で前年を下回った。利用関係別では、持家（同+5.1%）、貸家（同▲2.5%）、給与（同▲7.4%）、分譲（同▲9.0%）となった。

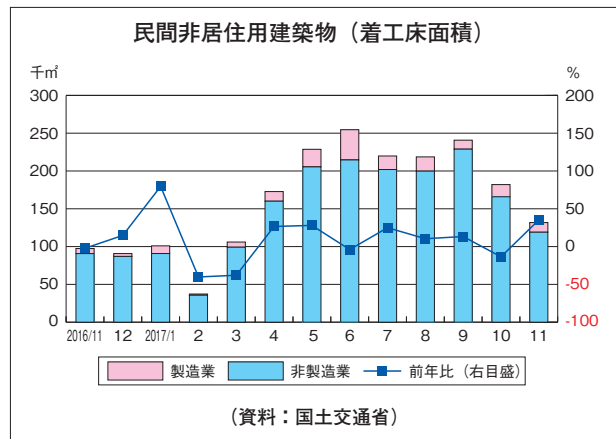
4～11月累計では、28,864戸（前年比▲0.1%）と前年並みになっている。利用関係別では、持家（同+0.9%）、貸家（同▲2.1%）、給与（同+36.8%）、分譲（同+3.7%）と貸家を除いて増加している。



## 7. 建築物着工床面積～2か月ぶりに増加

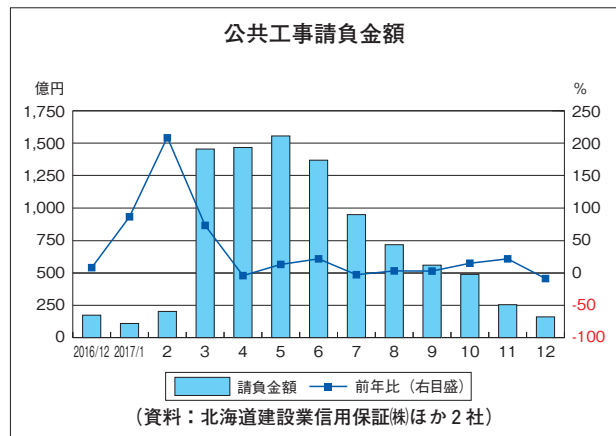
11月の民間非居住用建築物着工面積は、131,758㎡（前年比+35.2%）と2か月ぶりに前年を上回った。業種別では、製造業（同+90.3%）、非製造業（同+31.2%）ともに前年を上回った。

4～11月累計では、1,649,083㎡（前年比+11.8%）と前年を上回っている。業種別では、製造業（同▲0.5%）が前年を下回っているが、非製造業（同+13.3%）が前年を上回っている。



## 8. 公共投資～5か月ぶりに減少

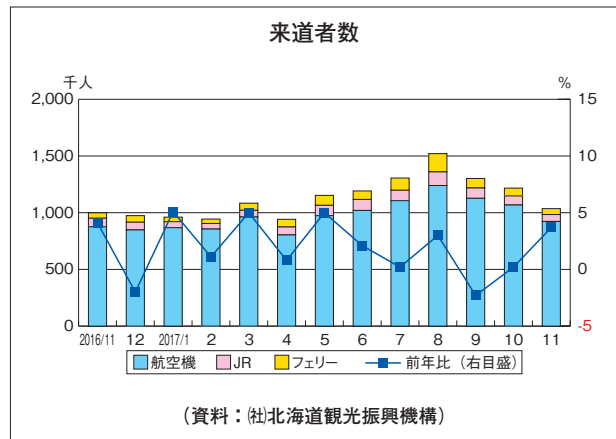
12月の公共工事請負金額は、160億円（前年比▲7.9%）と5か月ぶりに前年を下回った。発注者別では、独立行政法人（同▲74.5%）、市町村（同▲11.1%）、その他（同▲64.7%）が前年を下回ったが、国（同+9.4%）、北海道（同+3.1%）が前年を上回った。



### 9. 来道者数～2か月連続で増加

11月の国内輸送機関利用による来道客数は、1,036千人（前年比+3.7%）と2か月連続で前年を上回った。輸送機関別では、JR（同▲18.7%）が前年を下回ったが、航空機（同+5.4%）とフェリー（同+7.6%）が前年を上回った。

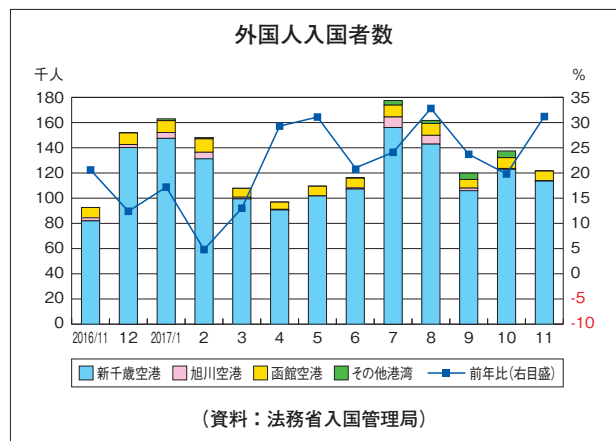
4～11月累計では、9,668千人と前年を1.5%上回っている。



### 10. 外国人入国者数～18か月連続で増加

11月の道内空港・港湾への外国人入国者数は、121,544人（前年比+31.2%）と18か月連続で前年を上回った。4～11月累計では、1,040,793人（同+26.4%）と前年を上回っている。

空港・港湾別では、新千歳空港が113,594人（前年比+38.5%）、函館空港が7,612人（同▲6.5%）、旭川空港が324人（同▲86.8%）だった。



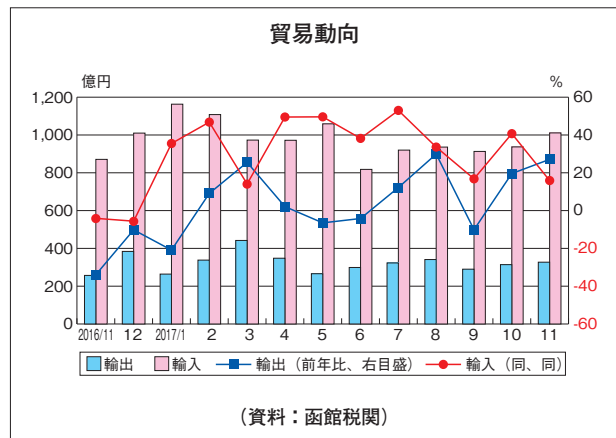
### 11. 貿易動向～輸出が2か月連続で増加

11月の貿易額は、輸出が前年比27.1%増の327億円、輸入が同15.9%増の1,011億円だった。

輸出は、鉱物性タール・粗製薬品、有機化合物、鉄鋼などが増加した。

輸入は、石油製品、原油・粗油、魚介類・同調整品などが増加した。

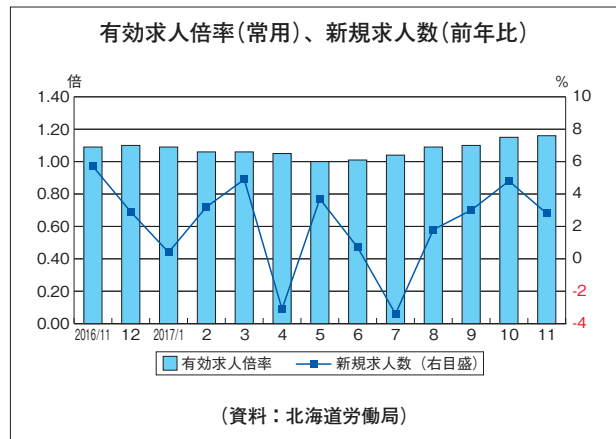
輸出は、4～11月累計では2,508億円（前年比+7.6%）と前年を上回っている。



## 12. 雇用情勢～改善が進んでいる

11月の有効求人倍率（パートを含む常用）は、1.18倍（前年比+0.08ポイント）と94か月連続で前年を上回った。

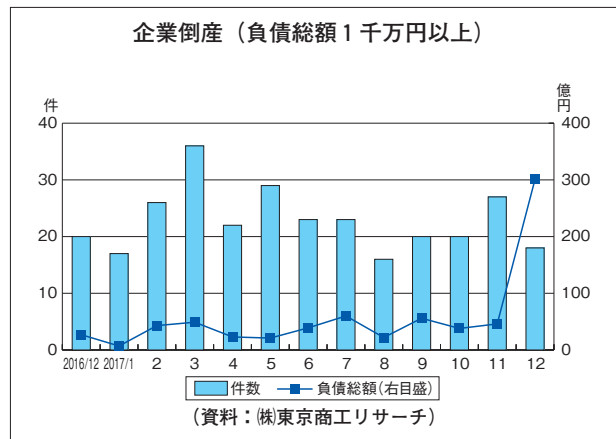
新規求人数は、前年比+2.8%上昇し4か月連続で前年を上回った。業種別では、医療・福祉（同+8.2%）、運輸業・郵便業（同+20.0%）、建設業（同+11.7%）などが前年を上回ったが、卸売業・小売業（同▲3.0%）、などが減少した。



## 13. 倒産動向～件数は2か月ぶりに前年を下回る

12月の企業倒産は、件数が18件（前年比▲10.0%）、負債総額が301億円（同+1033.1%）だった。件数は2か月ぶりに前年を下回った。負債総額は、4か月連続で前年を上回った。

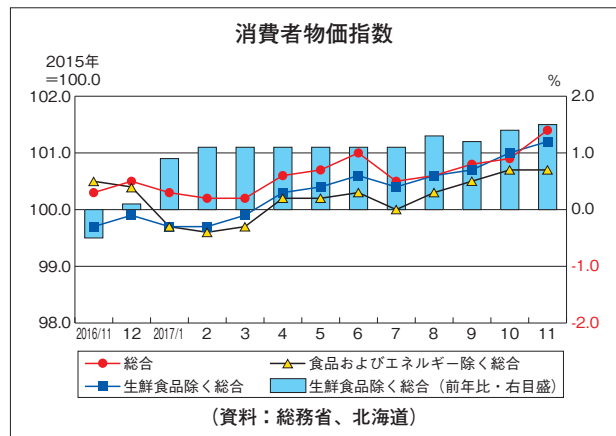
業種別では、建設業とサービス・他が各5件、小売業と不動産業が各2件などとなった。



## 14. 消費者物価指数～12か月連続で前年を上回る

11月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は、101.2（前月比+0.1%）と4か月連続で上昇した。前年比は+1.5%と、12か月連続で前年を上回った。

生活関連重要商品等の価格について、11月の動向をみると、食料品・日用雑貨等の価格は概ね安定して推移している。石油製品の価格は原油高を背景に上昇している。





# 売上改善の一方で、利益2期連続の低下

## 第67回 道内企業の経営動向調査

### 1. 平成29年10～12月期 実績

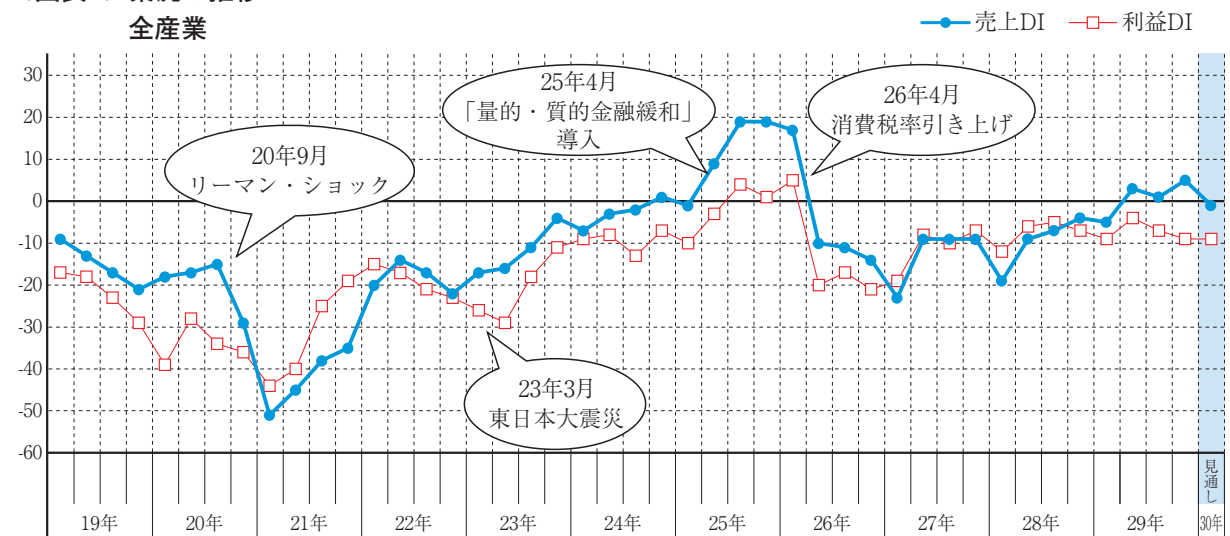
前期に比べ、売上DI (+5) は4ポイント上昇、利益DI (△9) は2ポイント低下。売上改善の一方で、利益は2期連続低下となった。コスト増加により、食料品製造業、運輸業、ホテル・旅館業の利益が低下した。木材・木製品、建設業、卸売業、小売業は持ち直しの動

きとなった。

### 2. 平成30年1～3月期 見通し

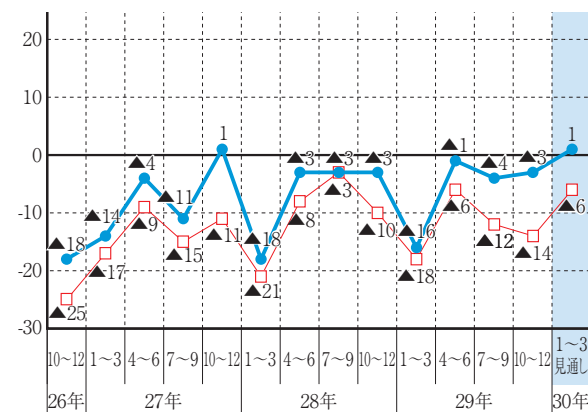
売上DI (△1) は6ポイント低下、利益DI (△9) は前期比横這いで、先行きの見通しにやや慎重さが見られる。製造業の業況が持ち直す一方で、非製造業は売上、利益とも低下の見通し。

＜図表1＞業況の推移  
全産業

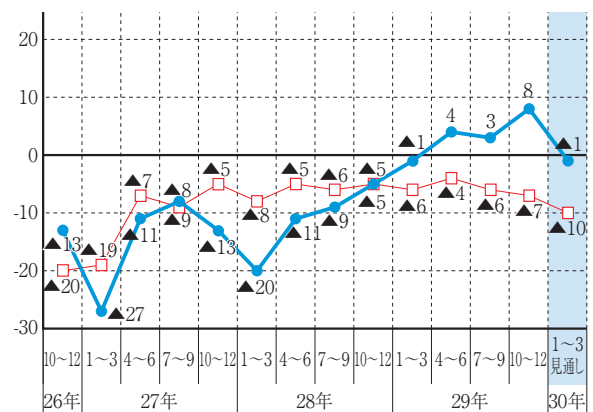


| 項目   | 26年<br>10～12 | 27年<br>1～3 | 28年<br>4～6 | 28年<br>7～9 | 28年<br>10～12 | 29年<br>1～3 | 29年<br>4～6 | 29年<br>7～9 | 29年<br>10～12 | 30年<br>1～3<br>見通し |
|------|--------------|------------|------------|------------|--------------|------------|------------|------------|--------------|-------------------|
| 売上DI | △14          | △23        | △9         | △9         | △9           | △19        | △9         | △7         | △4           | △5                |
| 利益DI | △21          | △19        | △8         | △10        | △7           | △12        | △6         | △5         | △7           | △9                |

#### 製造業



#### 非製造業





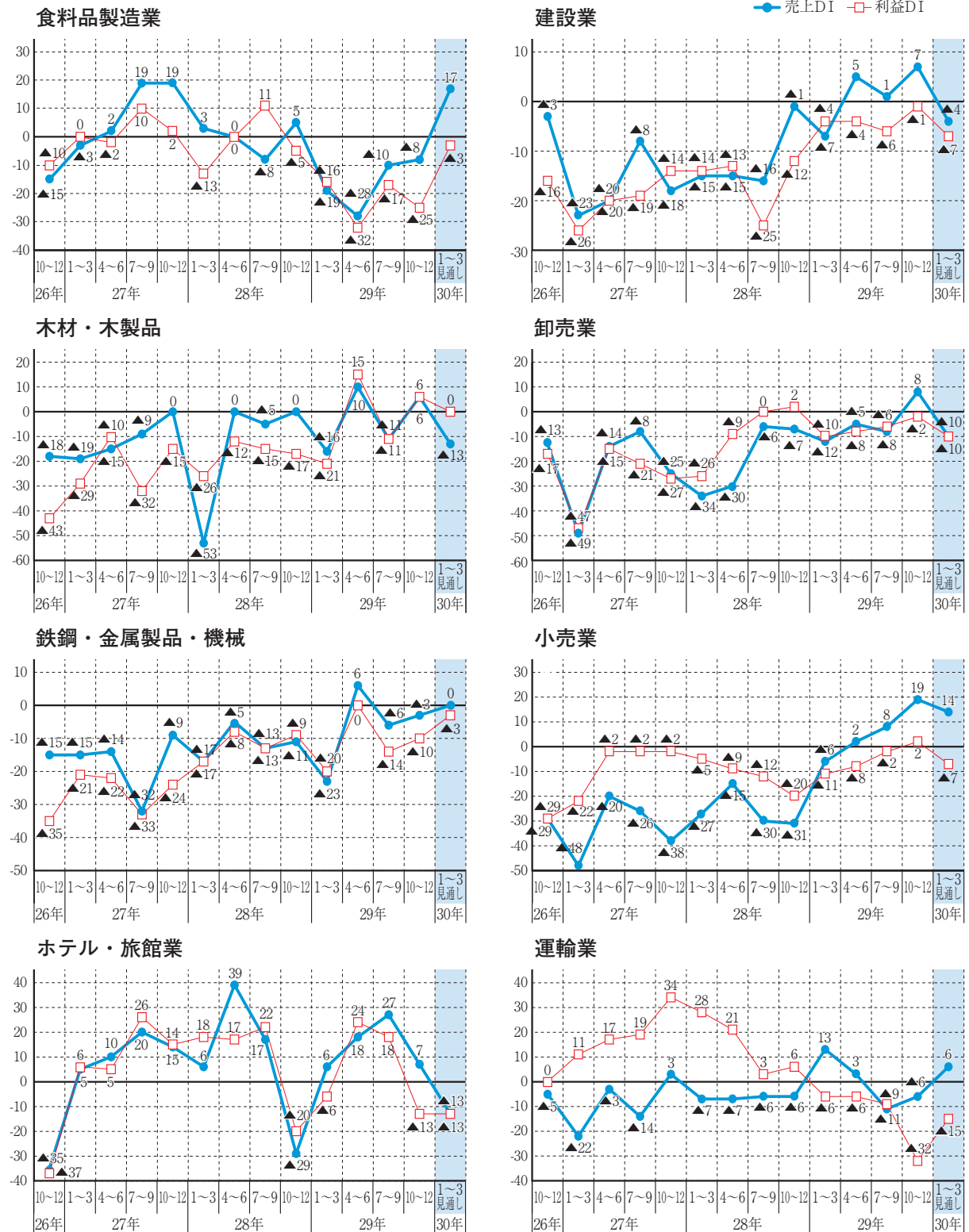
<図表 2-1>業種別の要点

|            | 要 点<br>(平成29年10~12月期実績)              | 29年   | 29年 | 29年 | 29年   |       | 30年 |     |
|------------|--------------------------------------|-------|-----|-----|-------|-------|-----|-----|
|            |                                      | 1~3   | 4~6 | 7~9 | 10~12 | 1~3   |     |     |
|            |                                      | 実績    | 実績  | 実績  | 実績    | 前回見通し | 見通し |     |
| 全産業        | 売上改善の一方、利益は2期連続低下。                   | 売上D I | △5  | 3   | 1     | 5     | △1  | △1  |
|            |                                      | 利益D I | △9  | △4  | △7    | △9    | △6  | △9  |
| 製造業        | 食料品製造業の利益低下。木材・木製品に持ち直しの動き。          | 売上D I | △16 | △1  | △4    | △3    | △1  | 1   |
|            |                                      | 利益D I | △18 | △6  | △12   | △14   | △6  | △6  |
| 食料品        | 原材料価格、諸経費などの上昇が重荷に。                  | 売上D I | △19 | △28 | △10   | △8    | 7   | 17  |
|            |                                      | 利益D I | △16 | △32 | △17   | △25   | 5   | △3  |
| 木材・木製品     | 木製品に持ち直しの動き。                         | 売上D I | △16 | 10  | △11   | 6     | 0   | △13 |
|            |                                      | 利益D I | △21 | 15  | △11   | 6     | △6  | 0   |
| 鉄鋼・金属製品・機械 | 鉄鋼・金属製品は持ち直し。機械は足踏み。                 | 売上D I | △23 | 6   | △6    | △3    | △9  | 0   |
|            |                                      | 利益D I | △20 | 0   | △14   | △10   | △17 | △3  |
| 非製造業       | 建設業、卸売業、小売業は業況持ち直し。運輸業、ホテル・旅館業の利益低下。 | 売上D I | △1  | 4   | 3     | 8     | △1  | △1  |
|            |                                      | 利益D I | △6  | △4  | △6    | △7    | △6  | △10 |
| 建設業        | 公共工事、民間工事とも持ち直し。                     | 売上D I | △7  | 5   | 1     | 7     | △7  | △4  |
|            |                                      | 利益D I | △4  | △4  | △6    | △1    | △13 | △7  |
| 卸売業        | 食品卸は低調続く。資材卸は堅調。卸売業全体では持ち直しの動き。      | 売上D I | △12 | △5  | △8    | 8     | 6   | △10 |
|            |                                      | 利益D I | △10 | △8  | △6    | △2    | 6   | △10 |
| 小売業        | 燃料店が単価上昇により売上改善。その他小売も持ち直しの動き。       | 売上D I | △6  | 2   | 8     | 19    | 8   | 14  |
|            |                                      | 利益D I | △11 | △8  | △2    | 2     | 2   | △7  |
| 運輸業        | 燃料費や人件費などのコスト増加により利益低下。              | 売上D I | 13  | 3   | △11   | △6    | △15 | 6   |
|            |                                      | 利益D I | △6  | △6  | △9    | △32   | △9  | △15 |
| ホテル・旅館業    | 原材料、諸経費、人件費などコスト増加により利益低下。           | 売上D I | 6   | 18  | 27    | 7     | △9  | △13 |
|            |                                      | 利益D I | △6  | 24  | 18    | △13   | 0   | △13 |

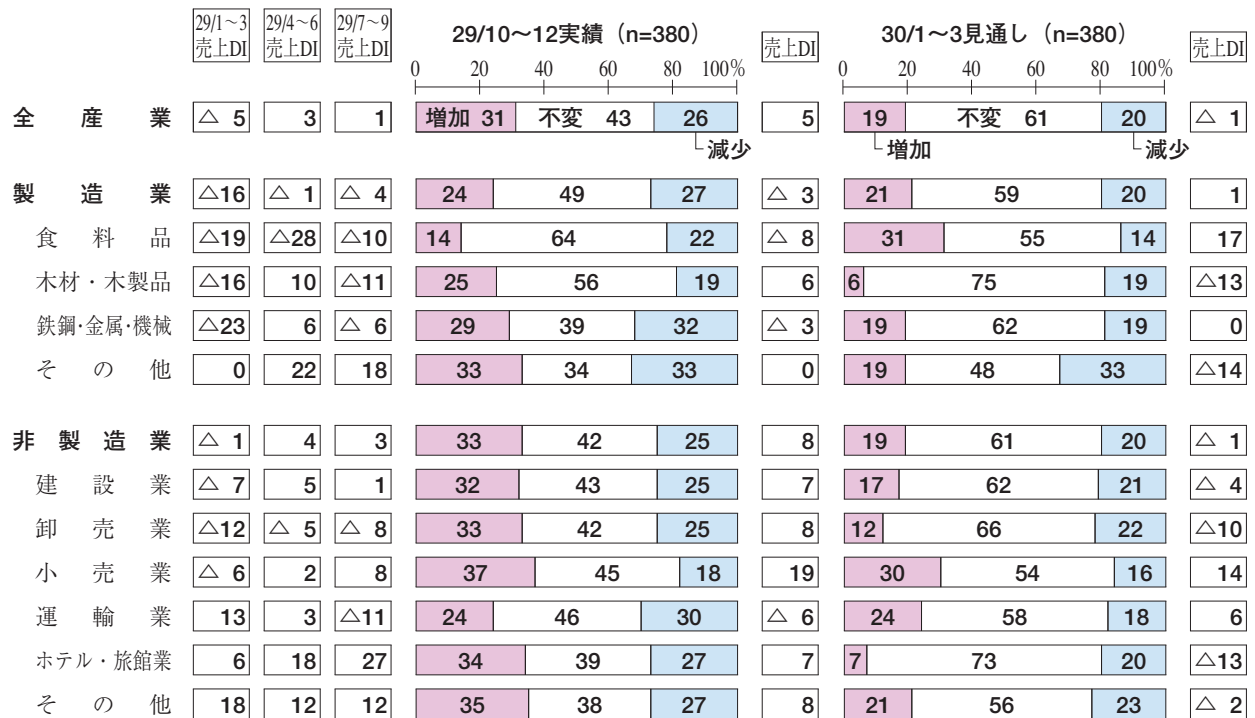
<図表 2-2>地域別業況の推移

|               |       | 27年 | 27年   | 28年 | 28年 | 28年 | 28年   | 29年 | 29年 | 29年 | 29年   |       | 30年   |
|---------------|-------|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-------|-------|
|               |       | 7~9 | 10~12 | 1~3 | 4~6 | 7~9 | 10~12 | 1~3 | 4~6 | 7~9 | 10~12 | 実績    | 前回見通し |
|               |       | 実績  | 実績    | 実績  | 実績  | 実績  | 実績    | 実績  | 実績  | 実績  | 実績    | 前回見通し | 見通し   |
| 全 道           | 売上D I | △9  | △9    | △19 | △9  | △7  | △4    | △5  | 3   | 1   | 5     | △1    | △1    |
|               | 利益D I | △10 | △7    | △12 | △6  | △5  | △7    | △9  | △4  | △7  | △9    | △6    | △9    |
| 札幌市           | 売上D I | △4  | △5    | △25 | △13 | △4  | △9    | △3  | 4   | 4   | 6     | 4     | △2    |
|               | 利益D I | △5  | △3    | △17 | △11 | △1  | △9    | △9  | △10 | △5  | △12   | △4    | △11   |
| 道 央<br>(札幌除く) | 売上D I | △4  | △1    | △8  | 0   | △9  | 6     | △2  | 13  | 10  | 3     | 2     | 9     |
|               | 利益D I | 0   | 1     | 7   | 8   | 6   | △2    | △4  | 8   | △8  | △3    | △9    | 5     |
| 道 南           | 売上D I | △5  | △11   | △17 | △3  | 0   | 6     | △12 | △15 | △43 | △13   | △19   | △18   |
|               | 利益D I | △9  | △5    | △17 | 5   | △5  | 6     | △27 | △21 | △46 | △36   | △28   | △36   |
| 道 北           | 売上D I | △26 | △25   | △24 | △13 | △13 | △5    | △9  | △7  | 4   | 11    | △2    | △4    |
|               | 利益D I | △25 | △16   | △17 | △7  | △20 | △10   | △7  | 0   | 4   | 2     | 2     | △11   |
| 道 東           | 売上D I | △16 | △18   | △18 | △9  | △12 | △9    | △4  | 8   | 3   | 10    | △6    | 3     |
|               | 利益D I | △25 | △18   | △17 | △16 | △17 | △9    | △8  | 0   | 0   | △3    | △4    | △3    |

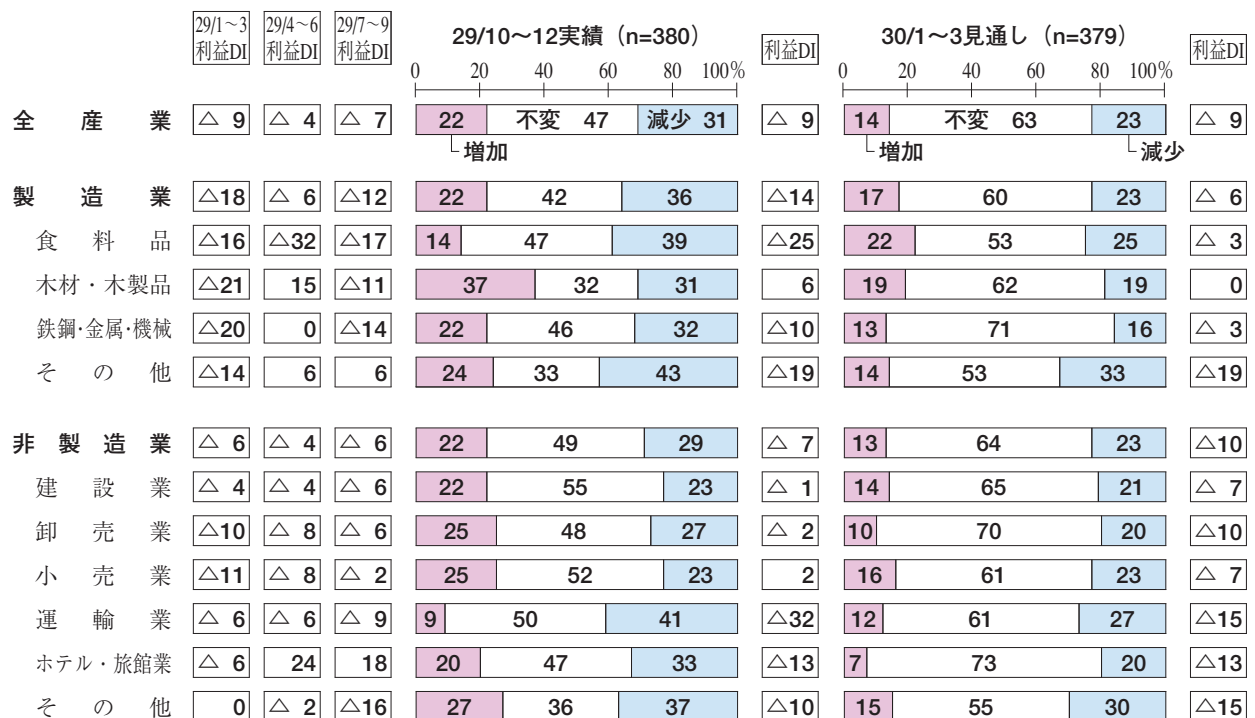
<図表3> 業況の推移 (業種別)



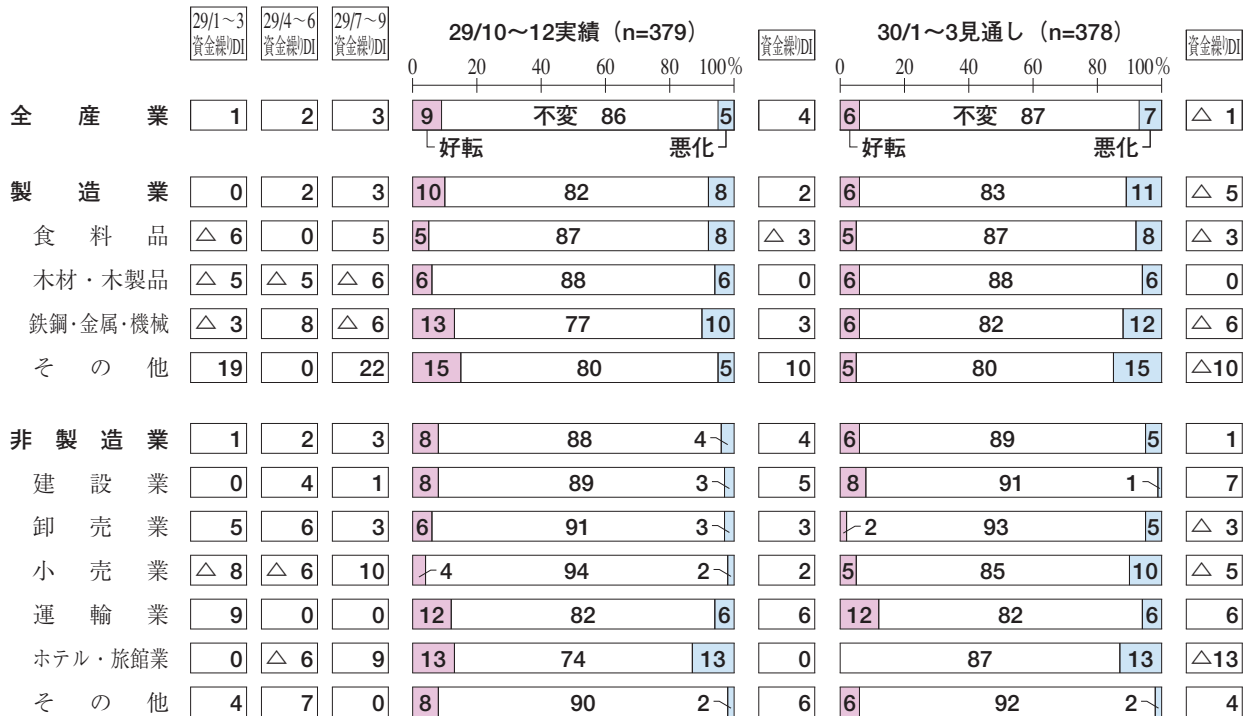
<図表4>売 上



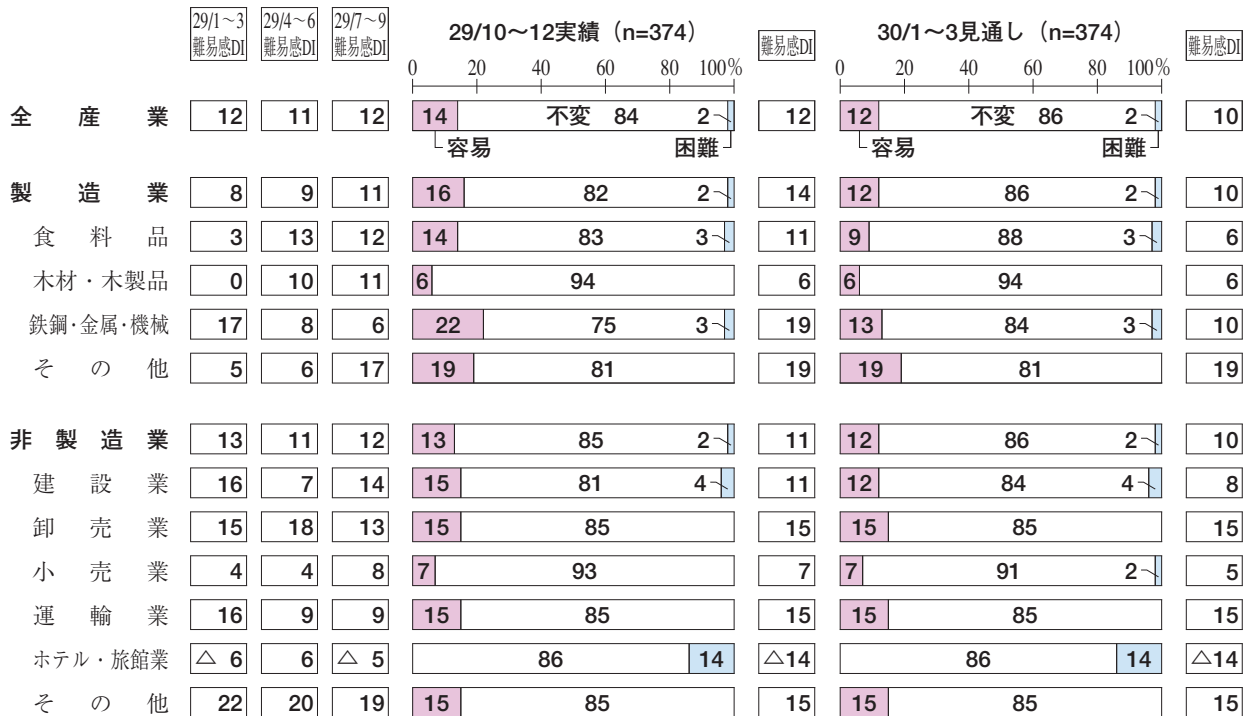
<図表5>利 益



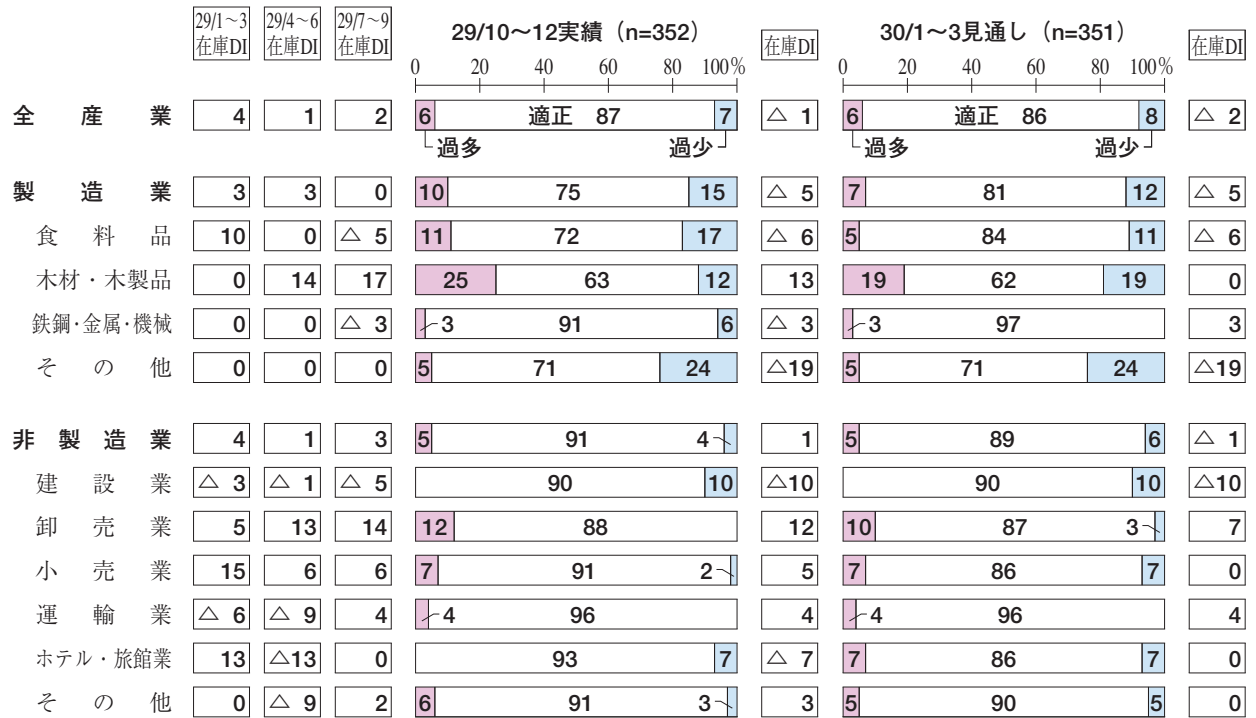
<図表6>資金繰り



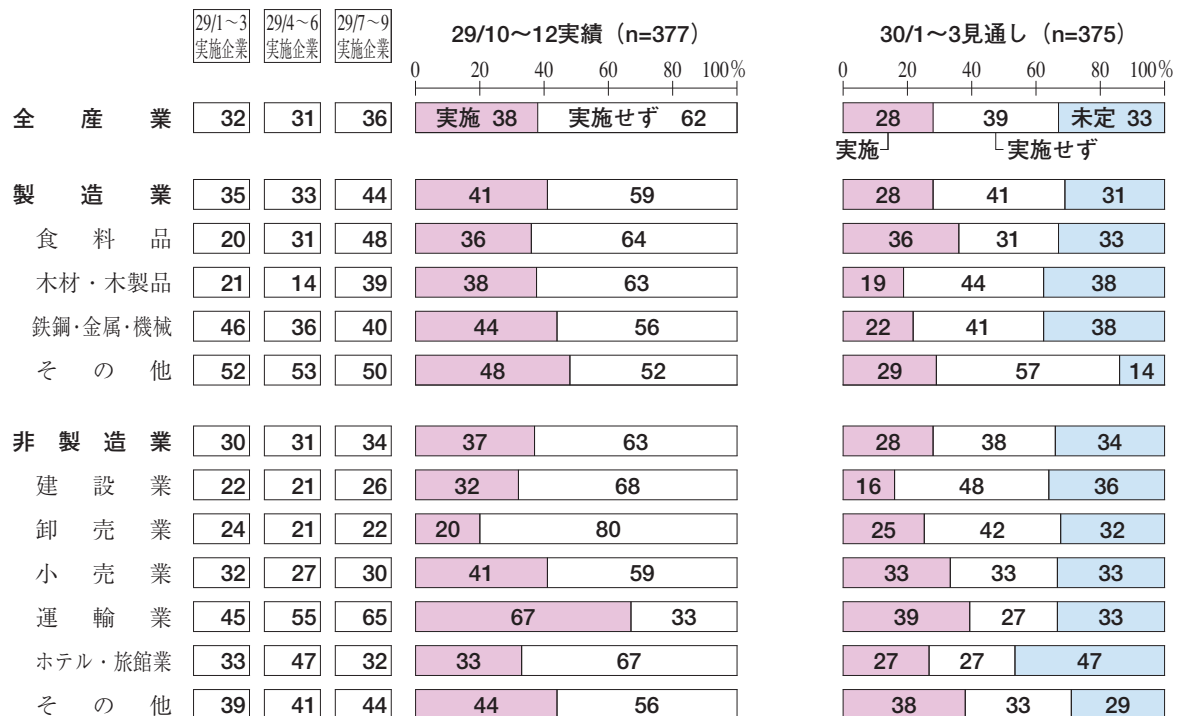
<図表7>短期借入金の難易感



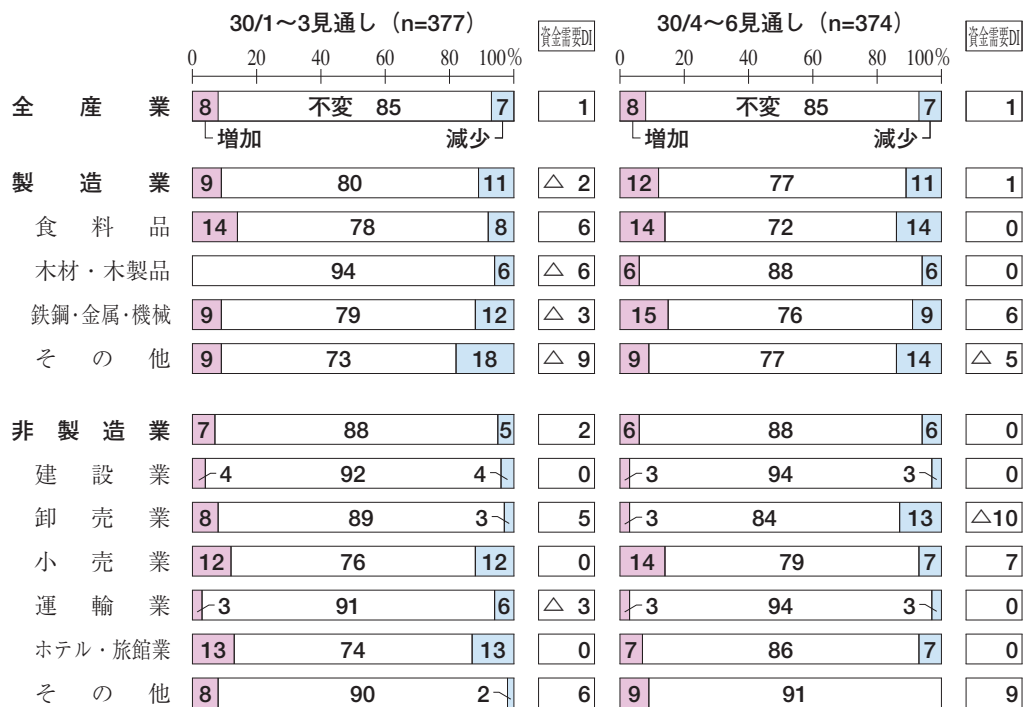
<図表8>在庫



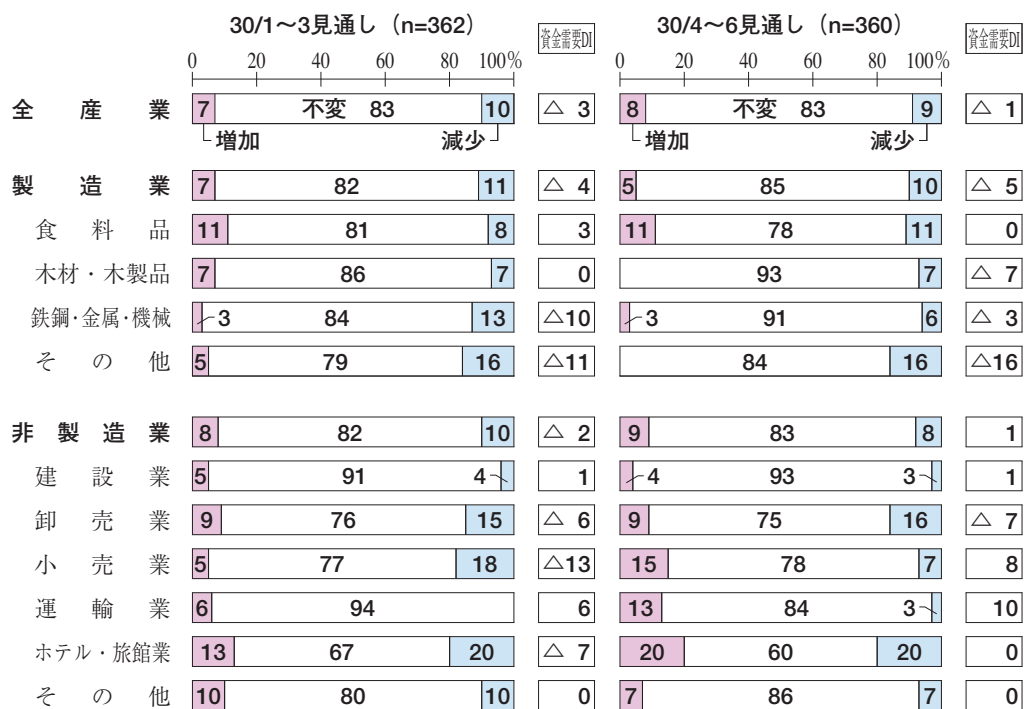
<図表9>設備投資



<図表10> 資金需要見通しの前年比較（運転資金）



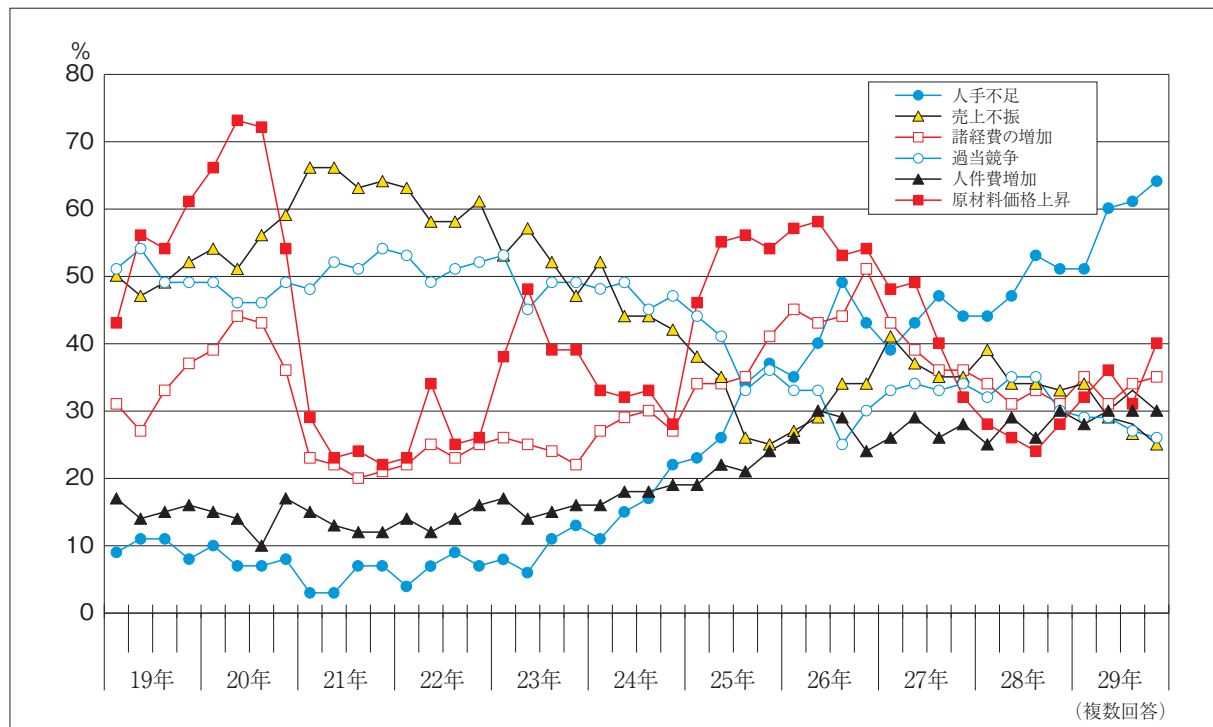
<図表11> 資金需要見通しの前年比較（設備資金）



<図表12> 当面する問題点（上位項目）の要点

| 項目              | 前期比 | 要 点   |
|-----------------|-----|---|
| (1)人手不足（64%）    | + 3 | 運輸業（85%）、建設業（81%）、ホテル・旅館業（80%）の人手不足が続く。                 |
| (2)原材料価格上昇（40%） | + 9 | 製造業（60%）で11ポイント、非製造業（32%）で8ポイントそれぞれ上昇。                  |
| (3)諸経費の増加（35%）  | + 1 | 運輸業（52%）、卸売業（45%）で2位、建設業（34%）で3位。                       |
| (4)人件費増加（30%）   | △ 3 | ホテル・旅館業（47%）で6ポイント、運輸業（30%）で6ポイント、建設業（34%）で5ポイントそれぞれ上昇。 |
| (5)過当競争（26%）    | △ 1 | 小売業（53%）で50%を超える。                                       |
| (6)売上不振（25%）    | △ 3 | 製造業、非製造業とも前期比低下。  |

<図表13> 当面する問題点（上位項目）の推移



<図表14> 当面する問題点(複数回答)

(単位：%)

| (項 目)       | 製造業             |                 |                 |                 |                 |                 | 非製造業            |                 |                 |                 |                 |                 |                 |
|-------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
|             | 全産業             | 製造業             | 食料品             | 木材・木製品          | 鉄鋼・金属製品・機械      | その他の製造業         | 非製造業            | 建設業             | 卸売業             | 小売業             | 運輸業             | ホテル・旅館業         | その他の非製造業        |
| (1)人手不足     | ①<br>64<br>(61) | ②<br>54<br>(50) | ②<br>53<br>(52) | ②<br>44<br>(33) | ①<br>58<br>(56) | ①<br>59<br>(47) | ①<br>67<br>(65) | ①<br>81<br>(78) | ①<br>47<br>(40) | ①<br>60<br>(53) | ①<br>85<br>(79) | ①<br>80<br>(91) | ①<br>63<br>(66) |
| (2)原材料価格上昇  | ②<br>40<br>(31) | ①<br>60<br>(49) | ①<br>72<br>(64) | ①<br>69<br>(44) | ②<br>48<br>(47) | ②<br>50<br>(18) | ③<br>32<br>(24) | 27<br>(18)      | ③<br>35<br>(32) | ③<br>40<br>(18) | ③<br>45<br>(38) | ②<br>47<br>(23) | 15<br>(21)      |
| (3)諸経費の増加   | ③<br>35<br>(34) | ③<br>32<br>(36) | ③<br>47<br>(43) | 31<br>(44)      | 29<br>(31)      | 14<br>(24)      | ②<br>36<br>(33) | 32<br>(36)      | ②<br>45<br>(29) | 25<br>(31)      | ②<br>52<br>(56) | 33<br>(32)      | ③<br>27<br>(23) |
| (4)人件費増加    | 30<br>(33)      | 29<br>(35)      | 44<br>(48)      | 19<br>(22)      | 26<br>(31)      | 14<br>(29)      | 30<br>(32)      | ③<br>34<br>(29) | 20<br>(25)      | 33<br>(41)      | 30<br>(24)      | ②<br>47<br>(41) | ②<br>31<br>(36) |
| (5)過当競争     | 26<br>(27)      | 12<br>(18)      | 17<br>(17)      | 6<br>(28)       | 13<br>(14)      | 9<br>(18)       | ③<br>32<br>(31) | ②<br>36<br>(32) | ②<br>33<br>(35) | 53<br>(49)      | 12<br>(18)      | 7<br>(14)       | ③<br>27<br>(21) |
| (6)売上不振     | 25<br>(28)      | 30<br>(35)      | 25<br>(26)      | ②<br>44<br>(61) | ③<br>32<br>(28) | ③<br>27<br>(47) | 23<br>(25)      | 16<br>(16)      | 30<br>(33)      | 30<br>(31)      | 12<br>(12)      | 20<br>(27)      | ③<br>27<br>(32) |
| (7)販売価格低下   | 12<br>(11)      | 10<br>(11)      | 11<br>(5)       | 6<br>(22)       | 6<br>(8)        | 14<br>(18)      | 13<br>(11)      | 5<br>(5)        | 23<br>(21)      | 20<br>(16)      | 3<br>(6)        | 13<br>(5)       | 15<br>(13)      |
| (8)設備不足     | 7<br>(6)        | 12<br>(12)      | 14<br>(10)      | 13<br>(17)      | 10<br>(11)      | 14<br>(12)      | 5<br>(5)        | 3<br>(1)        | 3<br>(5)        | 3<br>(4)        | 3<br>(6)        | 20<br>(18)      | 10<br>(4)       |
| (9)価格引き下げ要請 | 6<br>(5)        | 5<br>(4)        | 6<br>(7)        | —<br>(6)        | 6<br>(—)        | 5<br>(—)        | 7<br>(6)        | 5<br>(5)        | 13<br>(11)      | 3<br>(—)        | 6<br>(3)        | —<br>(—)        | 8<br>(9)        |
| (10)資金調達    | 5<br>(5)        | 7<br>(4)        | 8<br>(5)        | —<br>(—)        | 10<br>(6)       | 5<br>(—)        | 4<br>(5)        | 5<br>(5)        | 7<br>(6)        | —<br>(8)        | 3<br>(3)        | 7<br>(—)        | 2<br>(4)        |
| (11)代金回収悪化  | 1<br>(2)        | 1<br>(2)        | —<br>(—)        | —<br>(—)        | 3<br>(3)        | —<br>(6)        | 1<br>(2)        | —<br>(—)        | 3<br>(6)        | 3<br>(2)        | —<br>(—)        | —<br>(—)        | —<br>(4)        |
| (12)その他     | 2<br>(3)        | 5<br>(4)        | 3<br>(7)        | 6<br>(—)        | 3<br>(3)        | 9<br>(6)        | 1<br>(3)        | 1<br>(1)        | —<br>(6)        | 3<br>(2)        | —<br>(—)        | —<br>(5)        | 2<br>(2)        |

○内数字は業種内の順位、( )内は前回調査

調査要項

- 調査の目的と対象：アンケート方式による道内企業の経営動向把握。
- 調査方法：調査票を配布し、郵送または電子メールにより回収。
- 調査内容：第67回定例調査（29年10～12月期実績、30年1～3月期見通し）
- 回答期間：平成29年11月中旬～12月上旬
- 本文中の略称
  - (A) 増加（好転）企業：前年同期に比べ良いとみる企業
  - (B) 不変企業：前年同期に比べ変わらないとみる企業
  - (C) 減少（悪化）企業：前年同期に比べ悪いとみる企業
  - (D) DI：「増加企業の割合」－「減少企業の割合」
  - (E) n（number）＝有効回答数

■ 地域別回答企業社数

|     | 企業数 | 構成比    | 地 域                 |
|-----|-----|--------|---------------------|
| 全 道 | 383 | 100.0% |                     |
| 札幌市 | 148 | 38.6   | 道央は札幌市を除く石狩、後志、     |
| 道 央 | 81  | 21.1   | 胆振、日高の各地域、空知地域南部    |
| 道 南 | 39  | 10.2   | 渡島・檜山の各地域           |
| 道 北 | 53  | 13.8   | 上川・留萌・宗谷の各地域、空知地域北部 |
| 道 東 | 62  | 16.2   | 釧路・十勝・根室・オホーツクの各地域  |

■ 業種別回答状況

|               | 調査企業数 | 回答企業数 | 回答率   |
|---------------|-------|-------|-------|
| 全 産 業         | 702   | 383   | 54.6% |
| 製 造 業         | 197   | 106   | 53.8  |
| 食 料 品         | 68    | 36    | 52.9  |
| 木 材 ・ 木 製 品   | 33    | 16    | 48.5  |
| 鉄鋼・金属製品・機械    | 60    | 32    | 53.3  |
| その他の製造業       | 36    | 22    | 61.1  |
| 非 製 造 業       | 505   | 277   | 54.9  |
| 建 設 業         | 138   | 77    | 55.8  |
| 卸 売 業         | 105   | 60    | 57.1  |
| 小 売 業         | 93    | 43    | 46.2  |
| 運 輸 業         | 53    | 34    | 64.2  |
| ホ テ ル ・ 旅 館 業 | 35    | 15    | 42.9  |
| その他の非製造業      | 81    | 48    | 59.3  |



# 人件費・原材料価格・燃料費などのコスト増加への対応が課題に 〈企業の生の声〉

今回の調査では売上は改善しましたが、利益は2期連続の低下となりました。人手不足は一層深刻化しており、それに加え人件費、原材料価格、燃料費などのコスト増加が経営の重荷になっています。今後は人材の確保や育成、さらにコスト増加分を販売価格に転嫁していかなければならないという声が多く聞かれました。

以下に企業から寄せられた生の声を紹介いたします。

### 1. 食料品製造業

＜水産食料品製造業＞ 原材料価格の高騰により利益率は減少している。販売単価を上げたいが、大手業者との価格の兼ね合いもあり厳しい状況である。

＜動植物油脂製造業＞ 一番の課題は人手不足である。募集をかけても新卒、中途採用ともほとんど問い合わせがない。工場の稼動にも影響が出かねない状況である。

＜水産食料品製造業＞ 水産資源の減少による、仕入価格の上昇が大きな問題である。

＜その他食料品製造業＞ 上期の売上は過去最高であったが、現在は通常ペースに戻りつつある。

### 2. 木材・木製品製造業

＜木材・木製品製造業＞ TPP関連の補助金により、豚舎、牛舎関係の受注が順調であるが、来年度は不透明である。

### 3. 鉄鋼・金属製品・機械

＜金属素形製品製造業＞ 昨年の災害復旧工事により受注は増加しており、戸建の受注も順調である。しかし、来年度は災害工事が終了してくることから売上は減少すると見込んでいる。

＜業務用機械製造業＞ 漁業の不振により、水産関連業の設備投資意欲が低下しているため、受注は減少している。他業界への販路拡大が必要となっている。

＜生産用機械器具製造業＞ 農業関連予算により生乳タンクの受注があり、順調である。

＜非鉄金属製造業＞ 年末に向け受注は落ち着いたが、例年より受注は多い状況である。

### 4. その他の製造業

＜窯業・土石製品製造業＞ 人手不足や従業員の高齢化のため、売上・利益に影響がでてきている。

＜飼料・有機質肥料製造業＞ 原料不足が続いているが、9月以降は昨年と比べよくなってきている。しかし、仕入れ単価の引上げもあり減益を見込んでいる。

### 5. 建設業

＜一般土木建築工事業＞ 受注は順調であるが、技術者・下請業者の不足が続いている。

**<一般土木建築工事業>** 技術職（管理・現業）の不足が続いている。新入社員の見込みはついたが、即戦力不足であり数年は厳しい状況が見込まれる。

**<一般土木建築工事業>** 完成工事高については土木横這い、建築は上昇している。今後は予算減少により大幅な伸びは見込めない

**<床・内装工事業>** 多種多様の技術者を現場配置することにより、管理費、福利厚生費などの請求が可能となり利益改善に繋がった。また、外国人実習生を利用し9名のベトナム人（平均年齢26歳）を採用し現場での実習作業を進めたことから戦力となってきており、タイトな行程作業も対応できるようになった。今後は日本人・ベトナム人社員を増加させて受注工事を増やしたい。また、社員の働き方改革にも挑戦していきたい。

**<電気工事業>** 新築案件が増加しており、特にホテルや公共施設でのWIFI拡充のほか、携帯基地局での工事など商材は徐々に増えている。しかし、競合は厳しく入札は難航している。

### 6. 卸売業

**<産業用機械器具卸売業>** 新たな分野に取り組み、企業にとっての柱を増やしていく。増やす業務は現業務との相互に効果が生まれるようなものに取り組んでいく。

**<産業用機械器具卸売業>** 今期は好調に推移しているが、受注は経年劣化による更新がほとんどであり、新規受注は少ない。更に取り先の廃業も増加しており、将来は厳しくなっていくと考える。今後は原材料価格の上昇が続いていることや、働き方改革による残業代増加を抑制するため人員のやりくりが、大変である。

**<建築材料卸売業>** 販売単価上昇により増収増益となる。気になるのは建設業界で人員不足を要因とする案件のずれ込みが依然散見されているところである。

**<農畜産物・水産物卸売業>** 道内の農産物は豊作でも価格は下落せず好調であり、業況は順調であるが、この状態がいつまで続くかが不安である。

**<その他機械器具卸売業>** 同業他社との競合が厳しく、粗利が低くなっている。

### 7. 小売業

**<燃料小売業>** 原油価格の上昇を販売価格に転嫁する必要あり。

**<その他小売業>** 外国人観光客による売り上げが増加している。

### 8. 運輸業

**<一般貨物自動車運送業>** 建設関連の輸送は好調である。ただし、人員不足であり受注が来ても受けられない状況である。

**<一般貨物自動車運送業>** 人手不足が続いており人件費が増加している。また、燃料価格も上昇してきており、販売単価に転嫁させていかなければならない。

**<一般貨物自動車運送業>** 人手不足や労働時間の問題によるコスト増加が、運賃単価に反映されず、加えて燃料価格の上昇など経費増加が利益を圧迫している。11月5日の運送約款改定により、各荷主への周知と運賃改正に向け取組んでいるところである。

**<沿海海運業>** 原油価格の上昇により、収益が低下している。今後もその傾向が続くと見込まれるため、運賃の改定を考えなければならない。

**<沿海海運業>** 鋼材を中心に荷動きが活発になっているが、人手不足などの理由により収益が上がっていない。これまで通り原価圧縮が課題であるが、すでに限界がきており運賃改訂をしていく必要が出てきた。

## 9. その他非製造業

**<土木建築サービス業>** 近年土木関連業の人手不足が顕著で、利益が期待したほど伸びない。技術継承に係る人件費も膨らんでいるが、ある程度は投資と考え若手社員の成長を促進させる必要がある。今後はロボット技術など積極的に活用することや、技術を持った企業との連携により高付加価値サービス提供をし、売上・利益の確保に努める。

**<ソフトウェア業>** 業績向上は人材育成によるところが大きい。採用から教育まで含めたキャリアプランなどの包括的なプログラムの構築途上である。特にマネジメント層の教育、新卒（既卒も含む）の養成について力点をおいており、新たなトレーニングプランを策定し実施している。これらの活動と並行して働き盛りの中間層、及び若年層の退職を避けるための対策を進めている。

## トップに聞く⑦ 株式会社 アジア地域連携研究所

代表取締役 所長 黒河 功 氏  
専務取締役 中村 正士 氏

平成26年に設立。多様な人材のネットワークを活かし、農業関連での各種調査・研究の受託や海外からの道内視察への支援、ICT利用システムの開発などを通じ、社会貢献をめざすユニークな会社。今回は、GAP（農業生産工程管理）認証システムの開発を中心に、幅広い観点から北海道及びアジア地域の農業振興への思いを、所長と専務にお伺いしました。

代表取締役所長 黒河 功 氏



黒河 功氏は帯広市出身。北海道大学大学院（博士課程）修了。農林水産省北海道農業試験場（現・北海道農業研究センター）に就職後、北海道大学の助手に就任され、助教授、教授を歴任。（一社）北海道地域農業研究所長を経て、平成28年に株式会社アジア地域連携研究所所長に就任。  
農学博士・北海道大学名誉教授。

社会人博士等の多様な知識と経験を社会に還元したい

—法人設立の経緯や、方針などについてお聞かせ下さい—

所長：私が勤めていた北大では、大学院農学研究院で社会人大学院生を募集しており、坂下明彦教授の協同組合学研究室にも、社会人経験を持つ方々が博士号などを修めるために集まっていました。多様な経験を持つ皆様が、ただ学位を取得するだけではもったいない。その知識と経験を活かして社会貢献の活動をしようというのが当社発足の経緯です。

従って、当社が取り組む事業では、その内容に応じて、既に博士号を取得した方、論文を整理中の方などが入り混じって参加する仕組みとなります。株式会社ではありますが、多彩な人材のネットワークにより、プロジェクト形式で事業に取り組んでいるという感じです。

また、組織を維持していくための利益は必要ですが、利益の追求だけを目的とした会社ではなく、社会貢献を第一に考え、一定の利益があれば新しい研究開発等に利用しようというのが会社の方針、モットーと言えます。

我々の活動がイコール、社会貢献であるとすれば、他の皆様があまり手をつけていない分野で、現場の声を酌みながら研究や事業のテーマを見つけ、知識やノウハウを社会に還元していくということが企業理念と考えています。

### 会社概要

企業名：株式会社 アジア地域連携研究所  
住所：札幌市厚別区厚別中央1条6丁目3番  
1号ホクノ新札幌ビル408号  
TEL：011-229-1040  
E-mail：moton@jcom.home.ne.jp  
創業：平成26年4月  
事業内容：調査研究の受託、各種講習会・研究会事務局の受託、翻訳・通訳・資料作成、農業関連視察支援、農業関連事業の企画立案など  
◆北洋銀行ドリーム基金等に採択

—アジア地域連携研究所という社名の由来や事業の概要などについてお伺いします—

**専務：**先ほど所長のお話にあった坂下先生の研究室では、韓国、中国などの東アジアをフィールドとして調査・研究を続けてきています。また、私も含め、黒河先生や坂下先生は、20年近く中央アジア諸国（5カ国：ウズベキスタン、タジキスタン、カザフスタン、キルギス、トルクメニスタン）を中心にJICA（国際協力機構）の研修事業のお手伝いをしており、こうした取組み・活動の経緯などを踏まえて社名としております。

事業としては、JICAのキルギス農民を対象とした研修事業のほか、北海道農商工連携ファンド事業の活用などによりグローバルGAP認証支援システム（G-CAS）など、GAPの取組みを後押しするシステムの開発に取り組んでいます。

また、森林バイオマスを活用した施設園芸の可能性調査、GAP認証制度の普及や植物工場の将来展望などに関する調査・研究などを受託して実施しているほか、各種研修会開催や出版なども手掛けています。

事業によっては公的な意味がある取組みもあり、社団法人などが良いのかもしれませんが、自由度が高く、機動的に活動することができるよう「株式会社」を選択した次第です。

**GAP普及のためには、導入に当たっての労力軽減や学習するツールの開発が必要**

—最近良く耳にする「GAP認証」などについて、もう少しお聞かせください—

**所長：**GAPとは、農業生産工程管理（Good Agricultural Practice）のことで、生産物の安全を確保するための作業日誌の記帳を中心に、環境保全、労働安全等を確保するために注意すべき事項をリストアップし（リスク評価という）、より良い農

業生産の実践に結びつけていこうとするものです。

<GAPの目的>



具体的には、農場と農産物生産上の問題点や危険リスクなどの農場評価を行い、改善計画を作ります。そして計画に基づく改善の実施、改善後のチェックというサイクルを続けることで、農産物の安全とより良い農業生産を実現しようということです。

<GAPの取組内容>



素晴らしい取組みですが、農家の皆様からは「農作業事故の防止」や「整理・整頓の徹底で資材の無駄が省けた」との好評がある一方、「労力がかかって大変」、「指導者が少ない」などの声もあり、当社では、こうした課題の解決に向けて、先ほど専務が申し上げたシステムの開発に取り組むこととしました。

**専務：**ご承知のとおり、GAP認証は2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会で提供する食材の調達基準として話題になっていますが、国などでは農業生産のレベルアップのためのGAPの

「実践」と、取引先の要求などに応じる「認証」という2つのステップを想定しています。

そうした中、当社の認証支援システム・G-CASは、経営や圃場の基礎的なデータを入力し、改善計画を策定して、その実践は作業日誌で記録するという一連のサイクルを支援するもので、同時にGAPの認証書類も整理できる仕組みとなっています。特に、システム設計に当たっては農家の皆さんの労力軽減を第一と考え、作業日誌では概ね1日10分程度で入力できることを目標としたほか、出荷時に必要な生産履歴もプリントアウトして貼り付ければ良いようにしています。

#### G-CASの説明をされる「中村専務」



#### <G-CASシステム・メインメニュー>



また、所長がお話ししたとおりGAP導入に当たっての指導者が少ないのが実態です。

GAPに関心があっても手をつけにくい、あるいは、経営主だけではなく家族や従業員の方々が一緒になって取り組むことが難しいという問題があり、当社では、都合の良い時間にGAPの勉強を主体的に行える仕組みが必要と考え、現在、インターネット（eラーニング）によるGAP及び農場評価の学習システム（GAP-ELS）も開発中です。

#### —システム開発に当たってご苦労をされた点などがあればお聞かせ下さい—

**専務：**正直に言うと、やはり一番苦労したのは資金調達です。様々な仕組みを活用しながら資金を確保して開発を進めてきました。

それと、これは苦労ではないのですが、利用者となる農家の目線に立って開発することに拘っており、農業者の声をシステムにできるだけ反映するため、可能な限り現場に出向き評価を聞くよう努力しています。

#### 生産者を交えた農場評価風景



その中で、少し触れたいのが農薬や肥料に関するデータのことです。農薬は登録制ですのでデータベースがありますが、使用基準は細かく規定され、使用単位も色々あり、それに作物分類が絡んでくると非常に複雑です。現在提供されているデータベースでは、コンピュータ処理が難しいの

が実態です。また、肥料も登録制度がありデータベースも提供されていますが、農家の皆様が正式な銘柄名を覚えることは難しく、簡単に目的とする肥料を見つけることはできないのが現状です。

### 北海道農業のため、システム提供はできるだけ安価に、そして、もう一工夫が必要

#### —開発したシステムの運用など、今後の展開などについてお聞かせ下さい—

**専務：**GAP支援システム（G-CAS）などはクラウド型ソフトウェアで、基本設計は当社が実施し、プログラミングと運用管理は函館の株式会社グローバル・コミュニケーションズに委託しています。システムについては、既に展示会等にも出展していますが、より良いものを提供したいと考え改良を続けています。

#### 「北洋銀行ものづくりテクノフェア2017」 出展風景（平成29年7月20日）



先日の農家の皆様との意見交換では、「色々と配慮されており、おおむね使い易い」との評価を頂いたことから、本年1月末からの運用となるよう準備を進めています。

また、利用料金が安くなければ農業者の皆様に使って頂けない訳で、月額ベースで、支援システム「G-CAS」がタバコ2箱分（千円程度）、e-

ラーニング「GAP-ELS」がタバコ1箱分（五百円程度）に設定しています。

**所長：**北海道の農業というものを語る場合には、個々の農業者の皆様が主人公となることは勿論ですが、JAの生産部会という視点も大切であると考えています。例えば、トマト生産部会とか、レタス生産部会とか色々ある訳ですが、みんなで頑張ろうという団結力が強く、大きな力を持っています。

当社では、こうした生産部会などGAP認証を団体で取得する場合に必要な生産工程の管理、記録及びQMS（品質マネジメントシステム）を効率的に作成・整備するシステムも必要と考え、インターネットのクラウド上で、「G-CAS」や「GAP-ELS」と連動して利用するシステム「QMSビルダー」を開発しているところです。

こうした3つのツールの活用で、道内にGAPの取組みが大きく広がっていくことを、心から期待しています。

### 中央アジア諸国（キルギス）での農民組織づくりを応援したい

#### —アジア地域との交流・連携なども含め、今後の事業展開などについてお伺いします—

**専務：**実は、私自身がJICAの専門家としてタジキスタンに4年半ほど暮らしたこともあり、いま、その経験などを活かしてキルギスの方々の道内研修の支援に加え、キルギスでの講義や現地調査を実施しており、2月には再度出向いて同国の農協関係者の方々へレクチャーを行う予定です。

そうした交流の中で、キルギスの方々は北海道の中古農機への関心が高いこと、また、特産品のハチミツを輸出したいことが判り、そういう取組みの橋渡しや仲介などができないものかと考えています。

キルギス農業省での意見交換



**所長：**中央アジア諸国は旧ソ連邦であり、ソ連の崩壊により市場経済に移行して26年ほど経過しています。そうした中、キルギスでは、農業振興のためには農民組織の強化が必要であると考えています。彼らは、ヨーロッパやアメリカなども良く視察に行かれ、GAPも含め色々勉強されていますが、特に、日本の農民組織の歴史・経験や総合農協の仕組みについて強い関心を持っています。

個別事項でも、専務がお話しされた中古農機やハチミツのほか、例えば、農作物保険システムのことや輸送・パッケージ面など、日本がお手伝いできる部分が色々あり、当社としても関係機関・団体等と連携しながら様々な形で応援していきたいと考えています。

**GAPは、日本の消費者の皆さんの信頼を確保するための強力な武器になる**

—今後の北海道農業発展に向けたメッセージなどについてお伺いします—

**所長：**北海道農業においては規模拡大が続いており、一つの潮流となっています。そうすると、自分で農場を管理していくためには、経営管理の合理化が必要となり、ICT等の技術利用が重要とな

ります。また、JAの生産部会などの組織においても、皆さんがまとまって何かを進めていくための戦略が必要になると考えます。

一方では、ヨーロッパ発祥のG-GAP認証が世界中に広がりを見せており、国内の大手量販店やコンビニなども生産サイドでの認証取得へと動いています。また、国内では食品製造業に対するHACCP<sup>(1)</sup>の制度化という動きも見られます。

もとより、消費者の皆様は食の安全・安心に高い意識を持っておられますので、この日本の消費者の皆様のニーズにしっかりと応え、信頼を確保していくためには、生産者側も強い「武器」を持つ必要があります、その一つが「GAP」の取組みであると考えています。

食の安全確保のみならず、経営改善や事故防止などの労働安全、環境保全などの視点も含めて、GAPの取組みを強く進めていかなければならないものと考えています。

当社としても、社会貢献と言うことで、多様な人材の知識や経験、ノウハウをフル活用して、しっかりと取り組んでまいります。

終始、穏やかで和やかな雰囲気のお二人



黒河所長（右側）と中村専務（左側）

（田邊 隆久）

(1) HACCPとは「危害要因分析重要管理点」のこと。食品の製造・加工工程のあらゆる段階で発生する恐れのある微生物汚染等の危害を予め分析し、その結果に基づいて、製造工程のどの段階でどのような対策を講じればより安全な製品を得ることができるかという重要管理点を定め、これを連続的に監視することにより製品の安全を確保する衛生管理の手法。

Hazard（危害）Analysis（分析）and Critical（重要）Control（管理）Point（点）という言葉の略語。



# タイにおけるお客さまサポートの取組みについて

北洋銀行ソリューション部  
バンコク駐在員事務所  
所長 渡辺 孝史

タイ王国はASEAN域内経済の中心的な国として位置付けられており、毎年、東南アジア最大級と言われる多くのイベントが開催されております。また、経済成長に伴って、バンコクを中心に多くの大規模な施設の建設が進んでおります。今回は当行が関連するイベントやサポート状況についてレポート致します。

## 1. タイ王国の経済状況

タイ王国は人口6,598万人（人口センサス：2010年9月時点）を有し、ASEANの中で、インドネシア、フィリピン、ベトナムに次いで4番目となっています。首都であるバンコクは830万人（人口センサス：2010年9月時点）の人口を有し、タイ国内の全人口に占める割合は12.6%にも達しており、首都に人口が集中しています。そのため、タイでは首都バンコクを中心とした経済型社会とバンコク以外の農業型社会の二つの経済社会がひとつの国で混在しているという特徴があります。

2016年における一人当たりの名目GDPは5,899USD（IMF）と、日本の約6分の1程度しかありませんが、2018年の予想経済成長率（IMF世界経済見通し：2017年10月時点）は3.5%で、日本の5倍となっており、ASEAN市場の中で注目されている国です。

## 2. うまいっしょ北海道！（バンコク）

2017年9月8日から18日まで、バンコク市内モール・バンカピで、北海道の食を中心としたブースが出展し、当行が協賛する「うまいっしょ北海道！2017（バンコク）」が開催されました。北海道ブランドは、タイ人に「白い」「きれい」「美味しい」というイメージとともに受け入れられていますが、実際、本イベントの北海道観光を紹介するブースにおいても、「どこのスキー場ではパウダースノーで滑ることができるのか」「道央を中心に旅行したことがあるが、道東ではどんな景色が見られるのか」「北海道のラーメンで一番おいしいのはどこか」といった具体的な質問が見受けられました。北海道のスイーツ、カニ、ちらし寿司、ソフトクリームなどの販売では、多くの来場者が訪れ購入しておりました。

タイで一番人気のすしネタは、サーモンです。鮮やかなオレンジ色をしていることや脂がのっており、味が濃厚であるのが人気の理



【サーモンずし】

由です。販売において、価格の設定は非常に重要な要素のひとつで、設定価格により購入する方が極端に増減する傾向にあります。

タイで一般的に売られているソフトクリームやアイスは、滑らかなものは少なく、北海道のソフトクリームを食べ、その滑らかさと濃厚さに驚く方が多くいらっしゃいます。



【ソフトクリーム店】

### 3. うまいっしょ北海道！（コラート）

バンコク市内から車で約4時間、北東に移動するとコラートという街に着きます。そのコラートの中心部のショッピングモールであるザモール・コラート支店G階グランドホールで、2017年11月11日から21日まで、「うまいっしょ北海道！2017（コラート）」が開催されました。

本イベントは、「ザモール・ジャパンディスプレイ2017（昇龍道フェア）」の一面で開催され、北海道観光のPRや北海道のミネラルウォーター、ビールや焼酎などが販売されました。



【アンケート調査の様子】

タイから北海道へ訪れる観光客は、2012年10月のタイ国際航空による新千歳・バンコク便就航、2013年7月のタイ人へのビザ免除開始（15日未満の滞在の場合）もあり、2012年度37,000人に対し、2015年度155,200人、2016年度168,700人（北海道観光入込客数調査報告書）と急激に増加しております。バンコクから車で4時間の距離にある地方都市・コラートでも「北海道」の知名度はとても高いものとなっております。

当事務所サポートによる「来場者に対する日本観光に関するアンケート調査」では、10日間の行程で、バンコクから北海道に直行便で降り立ち、道内をレンタカーで観光し、仙台を経由して、東京からバンコクへ帰国したという方もいました。

バンコクでは渋滞が問題になっているのに対して、道内では大自然の中を走ることができるため、タイ人観光客の中には、道内をレンタカーで観光する方も増えてきています。

### 4. 北海道フェア in バンコク

バンコク市内のショッピングモール「セントラルワールドプラザ」の1階セントラルコートで、2017年12月1日から3日まで、ASEAN諸国の中で来道者数が最も多く、北海道への関心が高いタイにおいて、食を中心とした北海道の魅力を発信し道産品の輸出促進を図るため、北海

道・札幌市海外拠点連携協議会<sup>1</sup>、北海道産業雇用創造協議会<sup>2</sup>及び北海道による主催で「北海道フェア in バンコク」が開催されました。

道内企業22社（全64品目／うち47品目がタイ初出品）が参加し、スイーツをはじめ、水産加工品や農産加工品、化粧品など幅広い分野の商品を販売するとともに観光PR等も実施されました。

日本とタイでは、食文化も異なっており、食材の調理方法や食べ方をいかに伝えるかという点も非常に重要です。例えば、タイでは、冷凍フルーツの流通がとても少ないため、なじみがなく、冷凍さくらんぼの販売ブースでは、「少し溶けた状態が甘みを感じやすく色もきれい」という説明の有無で売上が大きく変化した様です。

タイ国内において、「北海道」は抜群の知名度ではありますが、道産品の輸出促進を図るためには、知名度だけに頼ることなく、今般のようなフェアや店頭等において、商品の丁寧な説明など、地道な活動を継続していく必要があります。

また、前述のとおり、タイからの来道者が年々、増加しており、今回のフェアでも、「北海道で食べたオレンジ色のメロンチョコレートが忘れられなくて来場した」という声も聞かれ、タイ国内での販売増加に向け、道内での体験と連動させるという形態も今後、増えていくことが予想されます。

## 5. 結びに

当駐在員事務所は、2014年1月、バンコクに開設され、ASEANにおける北海道のビジネス拠点として、道内並びに現地関係機関と連携して道内企業の進出、販路拡大、調達窓口拡大、インバウンド誘致などのビジネス支援を行なっております。

ASEAN関連でのご相談につきましては、お気軽に北洋銀行本支店及びソリューション部を通じてお問い合わせください。

### 【当駐在員事務所の主な業務】

- ・提携先であるバンコック銀行を通じた進出企業への金融支援
- ・現地ディストリビュータを招聘しての商談会開催
- ・現地旅行代理店への道内観光業者のセールスサポート
- ・道産品輸出に向けた現地での商談会並びに物産展開催支援
- ・調達窓口拡大に向けた現地企業調査並びに訪問アレンジ
- ・現地政府機関との情報交換、視察アレンジ

<sup>1</sup>北海道と札幌市が相互の海外ネットワークを活用し、道内企業の輸出拡大を支援することを目的とした連携団体

<sup>2</sup>北海道の強みを活かした「食」などの分野における雇用創出事業を推進する官民の連携団体

# 「第4回ものづくりスペシャリスト表彰」について

札幌商工会議所 産業部 地域振興・ものづくり課  
下辻 潤一（しもつじ じゅんいち）

## 1. 「ものづくりスペシャリスト表彰」とは？

本表彰制度は、ものづくり従事者の業務や実績を広く社会一般に浸透させると共に、技術者・技能者の地位向上、技術水準の向上、将来の担い手である若手従業員の意識向上を目的に、優れた技術や技能で社業や業界に貢献している「ものづくり従事者」を表彰する制度で、今年度で4回目の実施を迎えました。

当事業は平成26年度に1回目を実施しましたが、当時の表彰対象は「熟練部門」のみで年齢や勤務歴等は条件とせず、特定分野に秀でた技術・技能を有する方を表彰する制度となっておりました。

その後選考委員の意見により、2回目からは画期的な商品の開発を表彰する「新技術・技能部門」と意欲的な若手を表彰する「新星部門」が、今回からは特許等の知的財産の活用を評価する「知的財産部門」が新設され、合計4部門で募集を行うこととなりました。

<表彰部門の変遷>

| 回次   | 表彰部門   |          |      |        |
|------|--------|----------|------|--------|
| 第1回目 | 熟練部門のみ |          |      |        |
| 第2回目 | 熟練部門   | 新技術・技能部門 | 新星部門 |        |
| 第3回目 | 熟練部門   | 新技術・技能部門 | 新星部門 |        |
| 第4回目 | 熟練部門   | 新技術・技能部門 | 新星部門 | 知的財産部門 |

\* 各部門毎に最優秀賞・優秀賞を選考し表彰する

\* 「新技術・技能部門」・「知的財産部門」ではチーム（部署単位、複数メンバー）での申し込みも可

## 2. 申込者募集から受賞者決定まで

### (1) 申込者募集

ものづくり工業部会の正副部会長会議で表彰制度の改訂要領を審議した後、平成29年7月20日から平成29年8月24日までを募集期間として申込を受け付けました。北海道新聞、日本経済新聞、日刊工業新聞等への告知、当所ホームページへの掲載、メルマガでの配信等告知活動を行い、今年度は延べ16社の申し込みを頂きました。

### (2) 第1回選考委員会（平成29年9月6日開催）

選考委員は、行政機関（北海道経済産業局、北海道、札幌市）、研究機関、大学、新聞社等の10名に委嘱し、委員長には国立研究開発法人 産業技術総合研究所の永石 博志コーディネーター、副委員長には地方独立行政法人 北海道立総合研究機構の吉田 光則センター長が選出さ

れました。

「選考基準等の要領」や「申込人の概況」等を事務局が説明し、各部門の選考基準（熟練部門は4つ、その他の部門は3つ）に沿い、各基準10点満点（熟練部門は最大40点、他の3部門は最大30点）で書類選考を行うことや今後のスケジュールを説明致しました。

#### （3）第2回選考委員会（平成29年9月28日開催）

選考委員から提出された選考シート（採点表）を事務局が集計し、集計結果をもとに各委員から評価ポイント等を解説頂きました。集計結果では2位と3位の点差がわずか3点というケースもあり、このようなケースにおいては委員長が全委員の意見聴取等を行い、選考委員の総意として第3回選考委員会（面接）に進む各部門2名（チーム）の候補者を選考致しました。

#### （4）第3回選考委員会（平成29年11月1日開催）

各部門の最優秀賞・優秀賞を審査するため、書類選考を通過した候補者と選考委員との面接を行いました。

選考委員10名を前に緊張した面持ちの候補者と20分間の面接が繰り返されます。冒頭5分間のプレゼンでは、資料を配布し説明される方、口頭のみで説明される方、緊張して思うように話が出来なかった方等様々ですが、残り15分間の質疑応答では、選考委員から日頃の活動や苦勞している点などに質問が及ぶと緊張がほぐれ、饒舌になる方がいらっしゃるなどそれぞれの個性が表れておりました。約半日かかりで4部門×2名（チーム）の面接を実施し、最優秀賞候補、優秀賞候補が全会一致で出揃いました。

#### （5）ものづくり工業部会正副部会長会議（平成29年11月7日開催）

選考委員会で審議された受賞者（案）を「機関決定」する会議。冒頭事務局が応募状況と経過説明を行い、続いて永石委員長より最優秀賞候補、優秀賞各候補について、優れた点、特筆すべき点などの要点を絞って説明を頂きました。その後正副部会長の承認により、選考結果の通り、最優秀賞・優秀賞の受賞者が決まりました。（\*受賞者の一覧は以下をご参照下さい）



【第3回選考委員会（面接）の様子】

## 第4回ものづくりスペシャリスト表彰 受賞者

### ◇ものづくり熟練部門

|        |   |
|--------|---|
| 【最優秀賞】 | 株式会社双葉工業社 石狩工場副工場長 本間 克己氏 (55歳、職歴34年)   |
| ■評価点   | 治具の独自開発やメッキ処理方法の顧客指導が行える等、工場の作業環境改善、顧客のニーズの把握、後進への育成といった管理面での貢献が大きい。メッキ加工意義まで深く追究し、業界団体や各種大会等において講師や委員を務められる等の啓蒙にも努め、業界を牽引している存在。                                     |
| 【優秀賞】  | 株式会社北海サンコー 製造部課長 松本博志氏 (56歳、職歴26年)  |
| ■評価点   | プラスチックフィルムに印刷する機器のオペレーションにおいて、製品のクオリティを高めるために、機械化、自動化できない部分を豊富な経験に基づき、人間の手による極めて繊細な調整手腕の技能を有する。製品の高い歩留まりと優位性は、自社の生産性向上や競争力向上に大きく貢献しており、同業大手と遜色のない高品質を実現させ、社業への貢献度も高い。 |

### ◇ものづくり知的財産部門

|        |   |
|--------|---|
| 【最優秀賞】 | 株式会社ASCe 代表取締役 後藤 涼太氏 (49歳)   |
| ■評価点   | 食品業界で課題となる異物混入や不衛生などの問題を解決する「ニードルレス」という新規性のある特許技術。注入量の設定等の操作性やメンテナンスコスト削減という面からも、市場での将来性や優位性が見込まれ、今後の国内外での販売拡大が期待できる。                             |
| 【優秀賞】  | 株式会社ヤブシタ 代表取締役 森 忠裕氏 (46歳)  |
| ■評価点   | 最先端の特別な技術等を必要とせず、原理的な気づきによる工夫を施したことにより、空調室外機用のオーバーヒート対策・省エネ対策等、機器の性能向上を実現させ、実用性と将来性に優れているものを開発。積雪エリアに限られていた販売先を道外にも多数の販売実績を出しており、マーケットの広がりが期待できる。 |

### ◇ものづくり新技術・技能部門

|        |   |
|--------|---|
| 【最優秀賞】 | 寿産業株式会社 チーム名：環境開発室<br>(男性2名) 工場長 國奥 秀雄氏 (64歳)、次長 徳井 博樹氏 (42歳)   |
| ■評価点   | メッキ皮膜をはく離して粉末化することで抗菌粉末を得る独自技術は、抗菌メッキできない材料に対しても抗菌メッキ同様の効果を付加する技術となり得て、新しい素材として広く汎用性があり、今後の用途開発の展開が期待できる。                                 |
| 【優秀賞】  | 株式会社ショーワ チーム名：ショーワ製造部<br>(男性3名) 工場長 山日 敏行 (38歳)、融雪機部門 熊谷 智英 (42歳) 他1名   |
| ■評価点   | 大型設備導入や外注加工が必要と考えられていた孔明加工を、既存技術の組み合わせではあるが、高価な加工機を導入せずに内製化したことは、自社の生産性向上と発展に大きく貢献している。外注費用の節減にはじまり、運搬費や人件費の削減、加工日数の短縮、在庫圧縮など、社業への貢献も大きい。 |

### ◇ものづくり新星部門

|        |  |
|--------|--|
| 【最優秀賞】 | 札幌高級鋳物株式会社 製造部 造型班 吉田 諒太郎氏 (27歳)   |
| ■評価点   | 鋳物品製造において、最も重要な砂型造型現場で力を発揮している期待の若手であり、鍛造カレッジに自ら志願し、技術を習得する姿勢や、休憩時間を削って業務の習得に努力するなど仕事に対し、意欲的で熱意と謙虚さも併せ持った人材である。          |
| 【優秀賞】  | ユニカーボン株式会社 工場課兼製造課 菊池 毅氏 (26歳)   |
| ■評価点   | 現場で協力会社の仕事を積極的に手伝おうとするなど、仕事に対し意欲的に取組んでおり、豊かな発想力で工程改善を行うなど、職場に刺激や新たな価値観を与えている。入社早々に電気関係の資格を取得するなど、目標に向けて真摯に取り組み、結果を残している。 |

### 3. 「第4回ものづくりスペシャリスト表彰」表彰式（平成29年11月28日開催）

表彰式はニューオータニイン札幌で行われ、札幌商工会議所ものづくり工業部会の担当副会頭である星野 恭亮副会頭（旭イノボックス(株)代表取締役社長）、大槻 博副会頭（北海道ガス(株)代表取締役社長）、ものづくり工業部会の正副部長、受賞者、受賞者企業の代表者にご出席を頂きました。ものづくり工業部会の小砂 憲一会長（(株)アミノアップ化学代表取締役会長）より開会挨拶を頂き、担当副会頭より表彰状とトロフィー、副賞が授与され、最後に全員で記念撮影を行いました。



【表 彰 式 の 様 子】

表彰式の後には、受賞者と受賞者企業の代表者を囲み「昼食懇談会」を開催致しました。懇談会では受賞者企業の代表者から受賞者に対する労いの言葉や、自社を取り巻く環境（若者の人材不足や休日の課題等）の他、今回の応募経緯などをお話し頂きました。ある経営者の方からは「我々が作った製品に自社の名前が表記されることはない。縁の下の力持ち的な形で製品をこつこつと作る職人にスポットを当てるこの表彰制度は、ものづくりに携わる職人には励みになる」とのコメントや、新星部門で応募した企業からは「将来、熟練部門でも表彰されたいと思ってくれることを願い、この職員の成長を見届けていきたい」などのお話を頂きました。



【昼 食 懇 談 会 の 様 子】

#### 4. まとめ

今回は札幌商工会議所第4回ものづくりスペシャリスト表彰についてご紹介させて頂きました。皆様、ご感想はいかがでしょう？

札幌商工会議所ものづくり工業部会では北海道のものづくり産業の底上げを目的に日々活動しております。

今回の紹介した表彰制度の他にも、①ものづくり工業部会所属の会員企業を紹介するホームページ「ものづくりデータベース」や、②ものづくり企業の経営者を招き、経営手法などを学ぶ「ものづくり研修会」、③「北洋銀行ものづくりテクノフェア」「ビジネスEXPO」へ札幌商工会議所ブースを設け会員企業に出展頂く「販路拡大支援事業」等を実施しております。

特に「ものづくりデータベース」は平成29年度の新規事業として取り組み、平成29年10月2日にホームページを公開し、現在約200社のご登録を頂いております。本事業は、ものづくりに関連する会員企業の受発注機会の創出だけではなく、「ものづくり現場で働く若者のメッセージ」、「リクルート情報」、「インターンシップの受入可否」、「工場等の視察受入可否」などを掲載し、高校生や大学生等に「ものづくり企業」への関心を抱いて頂くことも狙いとしております。是非、この機会に本ホームページをご覧頂けたら幸いです（検索方法～「ものづくりデータベース」で検索下さい）。

今後も、札幌商工会議所では地域経済活性化に繋がる各種事業を展開して参ります。皆様の身近な商工会議所になる様、更なる努力を続けて参りますので、引き続きご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

【掲載企業：ものづくりに関わる製造業（機械・電気・化学・金属・樹脂・プラスチック・ガラス）】

【掲載内容】→企業のご紹介が中心です！

【検索方法】→ウェブ検索が基本となります！

札幌商工会議所 庶務部 情報課 ものづくり課  
〒060-0812 札幌市中央区南一条西1丁目 北海道経済センタービル2階  
TEL: 011-231-1373 FAX: 011-231-1078 E-mail: info@sapporo-cci.or.jp

⇒今年度10月に公開した「ものづくりデータベース」の案内チラシです。是非この機会に閲覧ください。「ものづくりデータベース」で検索ください。





## 「北海道」命名150年の節目の年を迎えて

平成30年の年明けを迎えた。明年は、平成天皇が退位され元号も変わることが予定されており、今年は実質的に平成最後の年となる。また、北海道にとっては、明治新政府が明治2年にそれまで蝦夷と呼ばれていたこの北の大地を「北海道」と命名して150年という節目の年にあたる。これを記念して、道庁、経済団体、アイヌ協会、文化団体などで構成される「北海道150年事業実行委員会」は、8月5日に「北海道150年記念式典」を開催するほか、本事業参加企業・団体による多彩なイベントが数多く計画されている。もっとも、こうしたイベントは北海道だけではなく、京都市などによる大政奉還150年を記念した「幕末サミット」や会津若松市による「戊辰150周年記念」等、全国で1200を超えるイベントなどが実施ないし企画されているということだ（1月3日付、北海道新聞）。

記念事業としての賑やかなイベントの開催は、それはそれで大変結構だが、反面、この節目の年を単なるお祭り騒ぎで終わらせてはならないと思う。過去150年の歴史を振り返り、現状を見つめ、未来に向けての北海道の「この先の道」を着実に模索する年であって欲しい。事実、「北海道150年実行委員会」の設立趣意書においても、「歴史や先人の偉業を振り返り（中略）、未来を展望しながら、互いを認め合う共生の社会を目指して、次の50年に向けた北海道づくりに継承する記念事業を展開したい」と書かれている。北海道は、今、急激な人口減少問題に直面し、エネルギー問題、交通インフラ問題、低生産性の克服など先送りされて来た様々な困難な問題に晒されている。はっきりしているのは、開拓、開発の時代はもう疾くに終わったということだ。明治この方、北海道の発展の原動力・推進力となって来た国の財政に頼った発展は最早望むべくもない。この意味で、北海道にとって「自立」が、今、改めて強く求められている。

北海道経済同友会では、本年、「北海道の未来を考える」WGを発足させ、この問題にじっくり取り組む予定である。これまで道庁をはじめ経済団体において様々な政策指針が示されて来た。中でも、平成21年10月、北海道経済連合会の提案書『— 北海道自立への展望 —（地域活性化方策の提案および国への要望）』は、地域の「自主・自立」を明確に示したものと注目される。本提言から10年が経過したが、この時点における北海道経済同友会のWG立ち上げは、北海道命名150年の節目に正に相応しい取り組みと言えよう。

ところで、「北海道」の命名と言えば、松浦武四郎が「北加伊道」を含む6つの名称を提案し、最終的に「北海道」と命名されたことはよく知られた事実である。松浦は6回にわたり当時の蝦夷地をくまなく調査し、記録を残した人であるが、蝦夷地の先住民族であるアイヌの人々に対する深い理解を持っていた人でもある。アイヌ民族への搾取を温存する明治政府の北海道開拓使を批判して自ら開拓判官の職を辞したことは彼の人となりをよく示している。2020年には、白老に民族共生象徴空間と国立アイヌ民族博物館がオープンするほか、東京オリンピック・パラリンピックも開催される。北海道命名150年の本年が、「民族共生」に向けての更なる飛躍の年となることを大いに期待したい。

（平成30年1月5日 北洋銀行会長 横内 龍三）



## 「北海道どさんこプラザ」マーケット情報 札幌店 【平成29年11月分】

### 【全体概要】

- ・11月の販売額は、5,168万円（前年同月比+18.9%）、レジ客数32,528人（同+14.6%）、客単価1,589円（同+3.8%）。今月は観光客が少ない時期だったが、人気グループのコンサートがあり、店の売上にもつながった。
- ・和寒町、剣淵町、石狩、青森と多数のフェアを開催し、それぞれの地域の特産品をその地域の方がPRすることでより良さをお客様に伝えることができた。地域特産品フェアを多く開催したことなどにより、販売額及びレジ客数は前年を大幅に上回った。
- ・部門別では、乳製品は容量が小さい牛乳、飲むヨーグルトが人気であった。また、比較的価格の低く購入しやすいチーズも好評であった（同+25.2%）。菓子類は観光客が少なく、箱物の菓子類の売上個数は下がったが、バラ売りの菓子類は安定した売上であった（同+19.7%）。次いで、畜産加工品（同+19.0%）、水産品（同+8.0%）など軒並み前年を上回る売上げとなった。

### （1）水産品 【868万円】

| No. | 振興局   | 品名         | 単価（円） | 数量  | 金額（円）   |
|-----|-------|------------|-------|-----|---------|
| 1   | オホーツク | さざ波サーモン    | 1,065 | 232 | 247,080 |
| 2   | 胆振    | きんき飯寿司 500 | 3,600 | 52  | 187,200 |
| 3   | 空知    | 鮭キムチ       | 1,000 | 160 | 160,000 |
| 4   | 留萌    | 北の味一番たこ    | 820   | 131 | 112,267 |
| 5   | 釧路    | 三大産地丸とろろ   | 381   | 278 | 111,200 |

### （2）畜産加工品 【220万円】

| No. | 振興局 | 品名             | 単価（円） | 数量  | 金額（円）   |
|-----|-----|----------------|-------|-----|---------|
| 1   | 空知  | 美唄やきとり         | 619   | 354 | 227,760 |
| 2   | 十勝  | 手作り餃子1200g     | 1,694 | 103 | 174,482 |
| 3   | 十勝  | 手作り餃子600g      | 898   | 137 | 123,026 |
| 4   | 空知  | 特上ラム400g       | 888   | 99  | 87,912  |
| 5   | 石狩  | 放牧豚無添加ポークウインナー | 284   | 192 | 76,416  |

### （3）農産品 【583万円】

| No. | 振興局 | 品名            | 単価（円） | 数量  | 金額（円）   |
|-----|-----|---------------|-------|-----|---------|
| 1   | 上川  | わっさむペポナッツ100g | 980   | 555 | 543,900 |
| 2   | 上川  | わっさむペポナッツ30   | 324   | 478 | 155,350 |
| 3   | 空知  | 塩ゆで落花生        | 1,100 | 104 | 115,648 |
| 4   | 十勝  | 切干大根          | 380   | 298 | 113,088 |
| 5   | 石狩  | 黒にんにく（有機）徳用   | 2,500 | 44  | 110,000 |

### （4）乳製品 【213万円】

| No. | 振興局 | 品名                | 単価（円） | 数量  | 金額（円）  |
|-----|-----|-------------------|-------|-----|--------|
| 1   | 渡島  | トラピストバター          | 1,143 | 52  | 62,400 |
| 2   | 後志  | ニセコのむヨーグルト500ml   | 343   | 120 | 40,870 |
| 3   | 胆振  | カチョカバロピッコロ        | 630   | 62  | 39,060 |
| 4   | 根室  | べつかいのコーヒー屋さん180ml | 120   | 289 | 37,941 |
| 5   | 根室  | 養老牛放牧牛乳180        | 278   | 124 | 34,472 |

### （5）菓子類 【1,790万円】

| No. | 振興局 | 品名             | 単価（円） | 数量    | 金額（円）   |
|-----|-----|----------------|-------|-------|---------|
| 1   | 石狩  | じゃがポックル        | 800   | 1,079 | 883,701 |
| 2   | 十勝  | マルセイバターサンド 10入 | 1,111 | 399   | 479,997 |
| 3   | 石狩  | 白い恋人 18枚       | 1,057 | 449   | 473,969 |
| 4   | 十勝  | マルセイバターサンド 5入  | 556   | 537   | 382,837 |
| 5   | 石狩  | 白い恋人 24枚W&B    | 1,409 | 245   | 344,924 |

<札幌店> 札幌市北区北6西4 JR札幌駅西通り北口 北海道さっぽろ「食と観光」情報館内  
 <資料出典> 一般社団法人 北海道貿易物産振興会 ホームページ  
[http://www.dousanhin.com/shop/sapporo\\_jr/index-supportdata.php](http://www.dousanhin.com/shop/sapporo_jr/index-supportdata.php)  
 <問合せ先> 北海道経済部食関連産業室マーケティンググループ TEL:011-204-5766

# 主要経済指標 (1)

| 年月         | 鉱工業指数          |            |                |            |                |            |                |            |                |            |                |            |
|------------|----------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|----------------|------------|
|            | 生産指数           |            |                |            | 出荷指数           |            |                |            | 在庫指数           |            |                |            |
|            | 北海道            |            | 全国             |            | 北海道            |            | 全国             |            | 北海道            |            | 全国             |            |
|            | 22年=100<br>季調値 | 前期比<br>(%) | 22年=100<br>季調値 | 前期比<br>(%) | 22年=100<br>季調値 | 前期比<br>(%) | 22年=100<br>季調値 | 前期比<br>(%) | 22年=100<br>季調値 | 前期比<br>(%) | 22年=100<br>季調値 | 前期比<br>(%) |
| 2013年度     | 101.3          | 1.7        | 98.9           | 3.2        | 101.5          | 1.2        | 98.7           | 2.9        | 99.0           | △ 3.7      | 98.9           | △ 1.2      |
| 2014年度     | 97.3           | △ 3.9      | 98.4           | △ 0.5      | 96.1           | △ 5.3      | 97.5           | △ 1.2      | 104.0          | 5.1        | 104.9          | 6.1        |
| 2015年度     | r 94.9         | △ 2.5      | r 97.5         | 0.9        | r 95.6         | △ 0.5      | r 96.4         | △ 1.1      | r 100.7        | △ 3.2      | r 106.1        | 1.1        |
| 2016年度     | 95.0           | 0.1        | 98.6           | 1.1        | p 94.2         | △ 1.5      | 97.2           | 0.8        | 98.0           | △ 2.7      | r 101.9        | △ 4.0      |
| 2016年 7~9月 | r 95.0         | 1.4        | 98.0           | 1.6        | r 94.6         | 2.0        | 96.3           | 1.0        | r 98.6         | △ 4.2      | r 109.9        | △ 2.2      |
| 10~12月     | r 95.4         | 0.4        | 99.8           | 1.8        | r 94.8         | 0.2        | 98.6           | 2.4        | r 96.7         | △ 1.9      | r 107.3        | △ 2.4      |
| 2017年 1~3月 | r 96.0         | 0.6        | 100.0          | 0.2        | r 94.3         | △ 0.5      | 98.5           | △ 0.1      | r 100.3        | 3.7        | r 109.7        | 2.2        |
| 4~6月       | 97.7           | 1.8        | 102.1          | 2.1        | 98.6           | 4.6        | 100.0          | 1.5        | r 100.7        | 0.4        | r 109.1        | △ 0.5      |
| 7~9月       | r 95.8         | △ 1.9      | 102.5          | 0.4        | r 96.5         | △ 2.1      | r 100.4        | 0.4        | r 97.3         | △ 3.4      | r 107.3        | △ 1.6      |
| 2016年 11月  | r 96.0         | 1.7        | 99.9           | 1.0        | r 95.2         | 1.4        | r 98.9         | 1.0        | r 95.8         | △ 1.4      | r 106.6        | △ 1.8      |
| 12月        | r 95.8         | △ 0.2      | 100.6          | 0.7        | r 95.2         | 0.0        | 98.9           | 0.0        | r 96.7         | 0.9        | r 107.3        | 0.7        |
| 2017年 1月   | r 94.6         | △ 1.3      | r 98.5         | △ 2.1      | r 92.9         | △ 2.4      | r 97.8         | △ 1.1      | r 99.6         | 3.0        | 107.4          | 0.1        |
| 2月         | r 96.8         | 2.3        | r 101.7        | 3.2        | r 95.3         | 2.6        | r 99.2         | 1.4        | r 100.4        | 0.8        | r 108.1        | 0.7        |
| 3月         | 96.5           | △ 0.3      | r 99.8         | △ 1.9      | 94.7           | △ 0.6      | r 98.4         | △ 0.8      | 100.3          | △ 0.1      | r 109.7        | 1.5        |
| 4月         | r 98.5         | 2.1        | r 103.8        | 4.0        | r 98.7         | 4.2        | r 101.1        | 2.7        | 101.7          | 1.4        | r 111.3        | 1.5        |
| 5月         | r 98.1         | △ 0.4      | 100.1          | △ 3.6      | 98.9           | 0.2        | 98.2           | △ 2.9      | 100.5          | △ 1.2      | 111.3          | 0.0        |
| 6月         | 96.6           | △ 1.5      | 102.3          | 2.2        | 98.2           | △ 0.7      | 100.7          | 2.5        | 100.7          | 0.2        | 109.1          | △ 2.0      |
| 7月         | r 95.5         | △ 1.1      | 101.5          | △ 0.8      | 96.5           | △ 1.7      | 100.0          | △ 0.7      | r 99.2         | △ 1.5      | 107.9          | △ 1.1      |
| 8月         | 97.5           | 2.1        | 103.5          | 2.0        | r 96.0         | △ 0.5      | 101.8          | 1.8        | 99.4           | 0.2        | 107.3          | △ 0.6      |
| 9月         | r 94.5         | △ 3.1      | 102.5          | △ 1.0      | r 97.1         | 1.1        | 99.3           | △ 2.5      | r 97.3         | △ 2.1      | 107.3          | 0.0        |
| 10月        | 97.5           | 3.2        | 103.0          | 0.5        | 98.8           | 1.8        | 98.9           | △ 0.4      | r 96.9         | △ 0.4      | 110.7          | 3.2        |
| 11月        | p 97.1         | △ 0.4      | 103.5          | 0.5        | 96.9           | △ 1.9      | 101.2          | 2.3        | 97.4           | 0.5        | 109.8          | △ 0.8      |

資料 経済産業省、北海道経済産業局

■ 鉱工業生産指数の年度は原指数による。  
 ■ 「P」は速報値、「r」は修正値。

| 年月         | 百貨店・スーパー販売額 |              |           |              |           |              |          |              |           |              |           |              |
|------------|-------------|--------------|-----------|--------------|-----------|--------------|----------|--------------|-----------|--------------|-----------|--------------|
|            | 百貨店・スーパー計   |              |           |              | 百貨店       |              |          |              | スーパー      |              |           |              |
|            | 北海道         |              | 全国        |              | 北海道       |              | 全国       |              | 北海道       |              | 全国        |              |
|            | 百万円         | 前年同<br>月比(%) | 億円        | 前年同<br>月比(%) | 百万円       | 前年同<br>月比(%) | 億円       | 前年同<br>月比(%) | 百万円       | 前年同<br>月比(%) | 億円        | 前年同<br>月比(%) |
| 2013年度     | 977,353     | 2.9          | 201,439   | 2.4          | 218,601   | 3.3          | 68,930   | 3.7          | 758,752   | 2.8          | 132,508   | 1.8          |
| 2014年度     | 967,563     | △ 1.0        | 199,952   | △ 0.9        | 209,547   | △ 4.1        | 67,021   | △ 2.8        | 758,016   | △ 0.1        | 132,931   | 0.0          |
| 2015年度     | 961,554     | 3.3          | r 199,400 | 2.7          | 210,190   | 0.3          | 67,923   | 1.3          | 751,365   | 4.0          | r 131,477 | 3.3          |
| 2016年度     | r 953,907   | △ 0.8        | r 195,263 | △ 1.1        | r 202,850 | △ 3.5        | r 65,610 | △ 3.4        | r 751,058 | 1.6          | r 129,653 | 0.0          |
| 2016年 7~9月 | 233,759     | 1.4          | r 47,469  | △ 1.6        | 50,485    | 1.9          | 15,378   | △ 3.7        | 183,274   | 1.2          | r 32,091  | △ 0.5        |
| 10~12月     | 257,538     | 0.0          | r 53,125  | △ 0.7        | 55,103    | △ 7.6        | 18,667   | △ 3.4        | 202,435   | 2.2          | r 34,459  | 0.8          |
| 2017年 1~3月 | r 234,305   | △ 0.2        | r 47,548  | △ 1.5        | r 50,972  | △ 3.9        | r 16,246 | △ 2.2        | r 183,334 | 0.9          | r 31,302  | △ 1.1        |
| 4~6月       | r 229,539   | 0.5          | r 47,158  | 0.1          | r 44,988  | △ 2.8        | 15,258   | △ 0.4        | 184,551   | 1.4          | r 31,900  | 0.3          |
| 7~9月       | 233,947     | 0.1          | 47,802    | 0.7          | 47,806    | △ 5.3        | 15,346   | △ 0.2        | 186,141   | 1.6          | 32,456    | 1.1          |
| 2016年 11月  | 78,429      | 0.4          | 16,479    | △ 0.1        | 16,479    | △ 7.4        | 5,796    | △ 3.3        | 61,949    | 2.6          | 10,683    | 1.8          |
| 12月        | 101,035     | △ 1.5        | 20,676    | △ 1.2        | 22,511    | △ 7.9        | 7,625    | △ 2.6        | 78,524    | 0.5          | 13,051    | △ 0.4        |
| 2017年 1月   | 81,361      | 0.8          | 16,743    | △ 1.0        | 18,082    | △ 2.4        | 5,740    | △ 2.2        | 63,279    | 1.7          | 11,003    | △ 0.4        |
| 2月         | 72,511      | △ 0.5        | 14,493    | △ 2.6        | 15,219    | △ 3.7        | 4,774    | △ 2.8        | 57,292    | 0.3          | 9,719     | △ 2.6        |
| 3月         | r 80,433    | △ 0.7        | r 16,312  | △ 0.9        | r 17,671  | △ 5.5        | 5,732    | △ 1.7        | r 62,763  | 0.7          | 10,580    | △ 0.5        |
| 4月         | r 76,477    | 1.3          | r 15,583  | 0.8          | r 14,729  | △ 2.3        | r 4,995  | △ 0.4        | r 61,748  | 2.2          | r 10,588  | 1.3          |
| 5月         | 77,093      | △ 0.1        | 15,881    | △ 0.6        | 15,005    | △ 3.8        | 5,069    | △ 1.1        | 62,088    | 0.9          | 10,811    | △ 0.4        |
| 6月         | 75,970      | 0.4          | r 15,694  | 0.1          | 15,255    | △ 2.2        | 5,194    | 0.2          | 60,714    | 1.2          | 10,500    | 0.0          |
| 7月         | 81,559      | 0.4          | 17,179    | △ 0.2        | 17,396    | △ 5.5        | 6,010    | △ 2.5        | 64,162    | 2.2          | 11,169    | 1.1          |
| 8月         | r 78,974    | 0.9          | 15,655    | 0.7          | 15,115    | △ 1.1        | 4,552    | 0.5          | r 63,860  | 1.4          | 11,103    | 0.8          |
| 9月         | 73,414      | △ 1.2        | 14,968    | 1.8          | 15,295    | △ 8.9        | 4,784    | 2.1          | 58,119    | 1.1          | 10,184    | 1.6          |
| 10月        | 78,003      | △ 0.1        | 15,889    | △ 0.5        | 16,528    | 2.6          | 5,164    | △ 1.5        | 61,475    | △ 0.8        | 10,725    | △ 0.0        |
| 11月        | 79,491      | 1.4          | 16,713    | 1.4          | 17,050    | 3.5          | 5,924    | 2.2          | 62,441    | 0.8          | 10,789    | 1.0          |

資料 経済産業省、北海道経済産業局

■ 百貨店・スーパー販売額の前年同月比は全店ベースによる。  
 ■ 「P」は速報値、「r」は修正値。

## 主要経済指標 (2)

| 年月         | 専門量販店販売額       |          |          |          |           |          |          |          |           |          |          |          |
|------------|----------------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|
|            | 家電大型専門店        |          |          |          | ドラッグストア   |          |          |          | ホームセンター   |          |          |          |
|            | 北海道            |          | 全国       |          | 北海道       |          | 全国       |          | 北海道       |          | 全国       |          |
|            | 百万円            | 前年同月比(%) | 億円       | 前年同月比(%) | 百万円       | 前年同月比(%) | 億円       | 前年同月比(%) | 百万円       | 前年同月比(%) | 億円       | 前年同月比(%) |
| 2013年度     | —              | —        | —        | —        | —         | —        | —        | —        | —         | —        | —        | —        |
| 2014年度     | 130,039        | —        | 41,781   | —        | 210,738   | —        | 49,423   | —        | 128,522   | —        | 32,517   | —        |
| 2015年度     | 136,816        | 5.2      | 42,288   | 1.2      | 229,820   | 9.3      | 54,776   | 9.2      | 131,589   | 2.4      | 33,159   | 2.0      |
| 2016年度     | r 136,978      | 0.1      | r 41,984 | △ 0.7    | r 242,714 | 5.6      | r 57,665 | 5.3      | r 129,492 | △ 1.6    | r 33,040 | △ 0.4    |
| 2016年 7～9月 | 34,031         | △ 0.1    | 10,704   | △ 3.1    | 62,111    | 5.2      | 14,511   | 5.7      | 32,540    | △ 0.5    | 8,185    | △ 1.1    |
| 10～12月     | 36,051         | △ 2.5    | 10,884   | △ 0.9    | 60,856    | 4.1      | 14,763   | 5.6      | 35,524    | △ 3.5    | 8,793    | △ 0.5    |
| 2017年 1～3月 | 36,720         | 0.6      | 10,698   | 1.5      | r 61,135  | 4.3      | r 14,094 | 3.0      | 24,745    | △ 2.3    | 7,245    | △ 0.7    |
| 4～6月       | 31,025         | 2.8      | 9,809    | 1.1      | r 61,758  | 5.4      | r 15,100 | 5.6      | 36,719    | 0.1      | 8,785    | △ 0.4    |
| 7～9月       | 35,959         | 5.7      | 11,320   | 5.8      | 65,707    | 5.8      | 15,452   | 6.5      | 33,067    | 1.6      | 8,192    | 0.1      |
| 2016年 11月  | 10,807         | △ 4.0    | 3,252    | △ 3.1    | 19,977    | 4.1      | 4,689    | 5.8      | 11,118    | △ 3.6    | 2,737    | 0.8      |
| 12月        | 14,338         | △ 5.8    | 4,507    | △ 1.5    | 20,801    | 3.3      | 5,282    | 5.7      | 13,213    | △ 4.8    | 3,318    | △ 1.7    |
| 2017年 1月   | 12,869         | △ 1.7    | 3,716    | △ 0.6    | 21,784    | 6.5      | 4,704    | 5.4      | 8,504     | △ 1.5    | 2,433    | 0.0      |
| 2月         | 9,781          | △ 1.2    | 2,960    | △ 1.0    | 20,601    | 5.0      | 4,537    | 1.3      | 7,100     | △ 1.8    | 2,189    | △ 2.0    |
| 3月         | 14,070         | 4.1      | 4,022    | 5.4      | r 18,750  | 1.2      | r 4,853  | 2.3      | 9,141     | △ 3.5    | 2,623    | △ 0.3    |
| 4月         | r 10,920       | 5.7      | r 3,316  | 5.7      | r 20,294  | 5.6      | r 4,933  | 5.5      | r 11,809  | 1.1      | r 2,962  | 0.4      |
| 5月         | 9,952          | 0.8      | 3,236    | 0.4      | 20,200    | 6.2      | 5,104    | 5.8      | 13,625    | △ 2.8    | 3,125    | △ 0.7    |
| 6月         | r 10,153       | 1.8      | 3,257    | △ 2.4    | r 21,264  | 4.4      | r 5,064  | 5.6      | 11,285    | 2.7      | 2,698    | △ 0.8    |
| 7月         | 14,190         | 22.5     | 4,595    | 9.4      | 22,228    | 7.3      | 5,355    | 6.1      | 12,029    | 4.5      | 2,910    | △ 0.9    |
| 8月         | 11,055         | △ 4.2    | 3,567    | 5.4      | 22,326    | 4.5      | 5,174    | 5.7      | 11,250    | 1.4      | 2,775    | △ 0.2    |
| 9月         | 10,714         | △ 1.9    | 3,158    | 1.2      | 21,153    | 5.6      | 4,923    | 7.7      | 9,788     | △ 1.4    | 2,507    | 1.6      |
| 10月        | 10,646         | △ 2.4    | 3,105    | △ 0.6    | 21,086    | 5.0      | 5,024    | 4.8      | 10,979    | △ 1.9    | 2,599    | △ 5.1    |
| 11月        | 11,447         | 5.9      | 3,436    | 5.6      | 21,006    | 5.2      | 5,000    | 6.6      | 11,053    | △ 0.6    | 2,750    | 0.5      |
| 資料         | 経済産業省、北海道経済産業局 |          |          |          |           |          |          |          |           |          |          |          |

■専門量販店販売額は平成26年1月から調査を実施。

| 年月         | コンビニエンスストア販売額  |          |          |          | 消費支出 (二人以上の世帯) |          |         |          | 来道者数      |          | 外国人入国者数 |          |
|------------|----------------|----------|----------|----------|----------------|----------|---------|----------|-----------|----------|---------|----------|
|            | 北海道            |          | 全国       |          | 北海道            |          | 全国      |          | 北海道       |          | 北海道     |          |
|            | 百万円            | 前年同月比(%) | 億円       | 前年同月比(%) | 円              | 前年同月比(%) | 円       | 前年同月比(%) | 千人        | 前年同月比(%) | 千人      | 前年同月比(%) |
| 2013年度     | 511,472        | 2.6      | 100,178  | 5.0      | 259,005        | △ 6.3    | 293,448 | 2.0      | 12,268    | 4.7      | 682     | 41.3     |
| 2014年度     | 528,434        | 3.3      | 105,446  | 5.3      | 259,469        | 0.2      | 288,188 | △ 1.8    | 12,308    | 0.3      | 930     | 36.3     |
| 2015年度     | 544,969        | 3.1      | 111,279  | 5.5      | 255,058        | △ 1.7    | 285,588 | △ 0.9    | 12,823    | 4.2      | 1,243   | 33.6     |
| 2016年度     | 561,979        | 1.9      | 115,183  | 3.4      | 260,403        | 2.1      | 281,038 | △ 1.6    | 13,501    | 5.3      | 1,394   | 12.2     |
| 2016年 7～9月 | 148,922        | 1.4      | 30,263   | 3.7      | 243,102        | △ 2.3    | 273,841 | △ 2.9    | 4,111     | 5.5      | 362     | 11.5     |
| 10～12月     | 141,723        | 2.8      | 29,300   | 3.9      | 286,570        | 5.9      | 290,432 | △ 0.3    | 3,187     | 2.6      | 359     | 16.7     |
| 2017年 1～3月 | 129,670        | 2.2      | 27,400   | 2.5      | 264,742        | 5.9      | 279,278 | △ 1.6    | 2,988     | 3.8      | 419     | 11.5     |
| 4～6月       | 138,429        | 2.7      | r 29,209 | 3.2      | 251,616        | 1.8      | 282,596 | 0.7      | 3,288     | 2.7      | 323     | 26.8     |
| 7～9月       | 151,233        | 1.6      | 31,057   | 2.4      | 253,712        | 4.4      | 276,106 | 0.8      | 4,128     | 0.4      | 459     | 26.9     |
| 2016年 11月  | 44,355         | 1.1      | 9,332    | 3.8      | 280,604        | 6.9      | 270,848 | △ 0.9    | 999       | 4.1      | 93      | 20.6     |
| 12月        | 49,120         | 3.3      | 10,075   | 3.7      | 312,508        | 6.7      | 318,488 | 0.1      | 974       | △ 2.0    | 152     | 12.4     |
| 2017年 1月   | 43,745         | 2.8      | 9,160    | 3.3      | 278,440        | 10.8     | 279,249 | △ 0.6    | 961       | 5.1      | 163     | 17.2     |
| 2月         | 40,669         | 1.0      | 8,542    | 0.8      | 251,822        | 6.6      | 260,644 | △ 3.4    | 944       | 1.1      | 148     | 4.8      |
| 3月         | 45,256         | 2.7      | 9,698    | 3.2      | 263,964        | 0.5      | 297,942 | △ 1.0    | 1,084     | 5.0      | 108     | 13.0     |
| 4月         | r 44,253       | 2.6      | r 9,514  | 3.3      | 262,723        | 2.6      | 295,929 | △ 0.9    | 943       | 0.8      | r 97    | 29.3     |
| 5月         | 47,393         | 2.4      | 9,965    | 3.6      | 232,292        | △ 4.8    | 283,056 | 0.4      | 1,153     | 5.0      | r 110   | 31.1     |
| 6月         | 46,783         | 3.1      | 9,731    | 2.9      | 259,834        | 7.6      | 268,802 | 2.8      | 1,192     | 2.1      | r 116   | 21.0     |
| 7月         | 52,820         | 4.7      | 10,763   | 3.1      | 242,762        | 0.1      | 279,197 | 0.4      | 1,306     | 0.2      | r 178   | 24.1     |
| 8月         | 50,980         | △ 0.8    | 10,513   | 1.9      | 275,520        | 13.9     | 280,320 | 1.4      | 1,521     | 3.0      | r 162   | 32.8     |
| 9月         | 47,433         | 0.8      | 9,781    | 2.1      | 242,855        | △ 0.8    | 268,802 | 0.6      | 1,302     | △ 2.3    | r 120   | 23.7     |
| 10月        | 48,190         | △ 0.1    | 9,982    | 0.6      | 301,786        | 13.2     | 282,872 | 0.3      | 1,217     | 0.2      | r 137   | 19.8     |
| 11月        | 45,337         | 2.2      | 9,524    | 1.8      | 263,159        | △ 6.2    | 277,361 | 2.4      | 1,036     | 3.7      | p 122   | 31.2     |
| 資料         | 経済産業省、北海道経済産業局 |          |          |          | 総務省、北海道        |          |         |          | 北海道観光振興機構 |          | 法務省     |          |

■コンビニエンスストア販売額の前年同月比は全店ベースによる。 ■年度および四半期の数値は月平均値。 ■「P」は速報値。

| 年月         | 乗用車新車登録台数                      |          |        |          |        |          |        |          |           |          |
|------------|--------------------------------|----------|--------|----------|--------|----------|--------|----------|-----------|----------|
|            | 北海道                            |          |        |          |        |          |        |          | 全国        |          |
|            | 合計                             |          | 普通車    |          | 小型車    |          | 軽乗用車   |          | 普・小・軽・計   |          |
|            | 台                              | 前年同月比(%) | 台      | 前年同月比(%) | 台      | 前年同月比(%) | 台      | 前年同月比(%) | 台         | 前年同月比(%) |
| 2013年度     | 198,981                        | 12.5     | 55,541 | 13.0     | 69,615 | 1.6      | 73,825 | 24.8     | 4,836,746 | 9.0      |
| 2014年度     | 179,403                        | △ 9.8    | 50,940 | △ 8.3    | 60,359 | △13.3    | 68,104 | △ 7.7    | 4,453,509 | △ 7.9    |
| 2015年度     | 168,708                        | △ 6.0    | 55,161 | 8.3      | 59,390 | △ 1.6    | 54,157 | △20.5    | 4,115,436 | △ 7.6    |
| 2016年度     | 176,018                        | 4.3      | 60,899 | 10.4     | 62,474 | 5.2      | 52,645 | △ 2.8    | 4,243,393 | 3.1      |
| 2016年 7～9月 | 44,364                         | 2.4      | 15,247 | 11.2     | 15,783 | △ 3.8    | 13,334 | 1.0      | 1,024,441 | △ 0.3    |
| 10～12月     | 37,536                         | 7.1      | 12,378 | 10.8     | 13,282 | 11.4     | 11,876 | △ 0.5    | 989,362   | 5.6      |
| 2017年 1～3月 | 51,516                         | 7.2      | 18,372 | 3.5      | 17,379 | 20.7     | 15,765 | △ 1.0    | 1,340,511 | 7.8      |
| 4～6月       | 49,194                         | 15.5     | 16,603 | 11.4     | 18,451 | 15.1     | 14,140 | 21.2     | 1,006,123 | 13.2     |
| 7～9月       | 46,639                         | 5.1      | 15,018 | △ 1.5    | 17,027 | 7.9      | 14,594 | 9.4      | 1,065,940 | 4.1      |
| 2016年 11月  | 13,275                         | 11.4     | 4,099  | 15.2     | 4,973  | 19.3     | 4,203  | 0.2      | 341,833   | 8.8      |
| 12月        | 11,847                         | 9.4      | 4,036  | 1.8      | 4,156  | 25.1     | 3,655  | 3.2      | 332,824   | 8.1      |
| 2017年 1月   | 12,284                         | 5.1      | 4,199  | △ 7.3    | 4,246  | 27.2     | 3,839  | 0.6      | 343,424   | 4.4      |
| 2月         | 14,151                         | 5.8      | 4,975  | 3.3      | 4,536  | 17.9     | 4,640  | △ 1.5    | 413,316   | 8.2      |
| 3月         | 25,081                         | 9.0      | 9,198  | 9.5      | 8,597  | 19.2     | 7,286  | △ 1.5    | 583,771   | 9.6      |
| 4月         | 15,326                         | 12.7     | 5,340  | 21.8     | 5,717  | 6.0      | 4,269  | 11.9     | 297,284   | 10.4     |
| 5月         | 14,569                         | 18.9     | 4,798  | 13.8     | 5,226  | 22.9     | 4,545  | 20.3     | 312,390   | 13.4     |
| 6月         | 19,299                         | 15.1     | 6,465  | 2.6      | 7,508  | 17.6     | 5,326  | 30.7     | 396,449   | 15.1     |
| 7月         | 16,696                         | 2.3      | 5,332  | △ 1.2    | 6,450  | △ 1.4    | 4,914  | 12.2     | 357,267   | 2.6      |
| 8月         | 13,273                         | 8.3      | 4,184  | △ 0.3    | 5,149  | 14.1     | 3,940  | 11.1     | 290,822   | 4.1      |
| 9月         | 16,670                         | 5.6      | 5,502  | △ 2.7    | 5,428  | 14.7     | 5,740  | 6.1      | 417,851   | 5.3      |
| 10月        | 12,480                         | 0.5      | 4,020  | △ 5.3    | 4,245  | 2.2      | 4,215  | 4.9      | 310,791   | △ 1.2    |
| 11月        | 13,198                         | △ 0.6    | 4,102  | 0.1      | 4,637  | △ 6.8    | 4,459  | 6.1      | 332,714   | △ 2.7    |
| 資料         | (社)日本自動車販売協会連合会、(社)全国軽自動車協会連合会 |          |        |          |        |          |        |          |           |          |

| 年月         | 新設住宅着工戸数 |          |       |          | 民間非居住用建築物着工床面積 |          |        |          | 機械受注実績  |          |
|------------|----------|----------|-------|----------|----------------|----------|--------|----------|---------|----------|
|            | 北海道      |          | 全国    |          | 北海道            |          | 全国     |          | 全国      |          |
|            | 戸        | 前年同月比(%) | 百戸    | 前年同月比(%) | 千㎡             | 前年同月比(%) | 千㎡     | 前年同月比(%) | 億円      | 前年同月比(%) |
| 2013年度     | 34,967   | △ 1.6    | 9,873 | 10.6     | 1,910          | 16.0     | 47,859 | 7.4      | 97,030  | 11.5     |
| 2014年度     | 32,225   | △ 7.8    | 8,805 | △10.8    | 1,769          | △ 7.4    | 45,013 | △ 5.9    | 97,805  | 0.8      |
| 2015年度     | 34,329   | 6.5      | 9,205 | 4.6      | 1,762          | △ 0.4    | 44,098 | △ 2.0    | 101,838 | 4.1      |
| 2016年度     | 37,515   | 9.3      | 9,741 | 5.8      | 1,809          | 2.7      | 45,299 | 2.7      | 102,315 | 0.5      |
| 2016年 7～9月 | 10,707   | 4.6      | 2,531 | 7.1      | 586            | △ 5.8    | 11,811 | 4.1      | 26,130  | 6.5      |
| 10～12月     | 10,126   | 9.7      | 2,507 | 7.9      | 399            | 14.7     | 10,803 | 2.7      | 23,725  | 3.6      |
| 2017年 1～3月 | 5,976    | 10.4     | 2,233 | 3.2      | 244            | △15.6    | 10,708 | 4.9      | 28,546  | △ 1.0    |
| 4～6月       | 11,202   | 4.6      | 2,500 | 1.2      | 656            | 13.1     | 12,393 | 3.5      | 23,673  | △ 1.0    |
| 7～9月       | 10,553   | △ 1.4    | 2,469 | △ 2.4    | 679            | 15.8     | 12,238 | 3.6      | 25,477  | △ 2.5    |
| 2016年 11月  | 3,497    | 10.8     | 851   | 6.7      | 97             | △ 2.2    | 3,802  | 14.2     | 7,378   | 10.4     |
| 12月        | 2,634    | △ 4.5    | 784   | 3.9      | 91             | 14.8     | 3,484  | 0.6      | 9,085   | 6.7      |
| 2017年 1月   | 1,536    | 29.5     | 765   | 12.8     | 101            | 79.6     | 3,683  | 20.4     | 6,698   | △ 8.2    |
| 2月         | 1,827    | 15.8     | 709   | △ 2.6    | 37             | △40.2    | 3,901  | 9.7      | 7,771   | 5.6      |
| 3月         | 2,613    | △ 1.4    | 759   | 0.2      | 106            | △37.9    | 3,123  | △13.0    | 14,077  | △ 0.7    |
| 4月         | 4,341    | 21.7     | 840   | 1.9      | 173            | 26.6     | 3,975  | 21.2     | 7,929   | 2.7      |
| 5月         | 3,449    | △ 6.4    | 785   | △ 0.3    | 229            | 28.0     | 4,037  | △10.0    | 6,797   | 0.6      |
| 6月         | 3,412    | △ 1.3    | 875   | 1.7      | 255            | △ 4.0    | 4,381  | 4.0      | 8,947   | △ 5.2    |
| 7月         | 3,595    | 7.5      | 832   | △ 2.3    | 220            | 25.0     | 3,817  | 14.1     | 7,217   | △ 7.5    |
| 8月         | 3,305    | △15.9    | 806   | △ 2.0    | 219            | 10.4     | 4,150  | △ 6.9    | 7,666   | 4.4      |
| 9月         | 3,653    | 6.4      | 831   | △ 2.9    | 241            | 13.2     | 4,271  | 6.6      | 10,594  | △ 3.5    |
| 10月        | 3,654    | △ 8.5    | 831   | △ 4.8    | 182            | △13.5    | 4,076  | 15.9     | 7,428   | 2.3      |
| 11月        | 3,455    | △ 1.2    | 847   | △ 0.4    | 132            | 35.1     | 4,066  | 6.9      | 7,680   | 4.1      |
| 資料         | 国土交通省    |          |       |          | 国土交通省          |          |        |          | 内閣府     |          |

■「r」は修正値。

■船舶・電力を除く民需(原系列)。

主要経済指標 (4)

| 年月         | 公共工事請負金額          |              |         |              | 有効求人倍率<br>(常用)   |      | 新規求人数 (常用)      |              |         |              | 完全失業率            |     |
|------------|-------------------|--------------|---------|--------------|------------------|------|-----------------|--------------|---------|--------------|------------------|-----|
|            | 北海道               |              | 全国      |              | 北海道              | 全国   | 北海道             |              | 全国      |              | 北海道              | 全国  |
|            | 百万円               | 前年同<br>月比(%) | 億円      | 前年同<br>月比(%) | 倍<br>原<br>数<br>値 |      | 人               | 前年同<br>月比(%) | 人       | 前年同<br>月比(%) | %<br>原<br>数<br>値 |     |
| 2013年度     | 947,785           | 22.1         | 145,711 | 17.7         | 0.74             | 0.87 | 28,464          | 14.1         | 710,146 | 7.2          | 4.5              | 3.9 |
| 2014年度     | 875,370           | △7.6         | 145,222 | △0.3         | 0.86             | 1.00 | 29,913          | 5.1          | 738,811 | 4.0          | 3.9              | 3.5 |
| 2015年度     | 770,811           | △11.9        | 139,678 | △3.8         | 0.96             | 1.11 | 31,181          | 4.2          | 769,387 | 4.1          | 3.5              | 3.3 |
| 2016年度     | 877,653           | 13.9         | 145,395 | 4.1          | 1.04             | 1.25 | 31,966          | 2.5          | 811,190 | 5.4          | 3.6              | 3.0 |
| 2016年 7～9月 | 220,156           | 2.1          | 40,807  | 6.8          | 1.07             | 1.22 | 32,669          | 3.5          | 805,373 | 5.9          | 3.9              | 3.1 |
| 10～12月     | 80,282            | △17.0        | 28,007  | △4.5         | 1.09             | 1.32 | 29,253          | 1.6          | 778,977 | 4.7          | 3.3              | 2.9 |
| 2017年 1～3月 | 176,637           | 84.0         | 29,549  | 9.9          | 1.05             | 1.35 | 33,702          | 2.9          | 877,726 | 5.0          | 3.8              | 2.9 |
| 4～6月       | 439,222           | 9.6          | 48,251  | 2.6          | 1.02             | 1.24 | 32,337          | 0.3          | 826,137 | 5.6          | 3.4              | 2.9 |
| 7～9月       | 222,628           | 1.1          | 37,573  | △7.9         | 1.11             | 1.35 | 32,807          | 0.4          | 848,997 | 5.4          | 3.2              | 2.8 |
| 2016年 11月  | 20,759            | △39.4        | 8,220   | △5.7         | 1.10             | 1.31 | 29,161          | 5.7          | 774,945 | 7.9          | 3.3              | 3.0 |
| 12月        | 17,332            | 8.8          | 8,514   | 5.3          | 1.09             | 1.36 | 25,734          | 2.9          | 721,032 | 7.6          | ↓                | 2.9 |
| 2017年 1月   | 10,916            | 87.3         | 6,997   | 7.1          | 1.06             | 1.36 | 32,042          | 0.4          | 879,368 | 3.9          | ↑                | 3.0 |
| 2月         | 20,241            | 210.0        | 7,693   | 10.4         | 1.06             | 1.37 | 34,242          | 3.2          | 889,965 | 5.5          | 3.8              | 2.8 |
| 3月         | 145,479           | 74.0         | 14,859  | 10.9         | 1.05             | 1.34 | 34,822          | 4.9          | 863,844 | 5.5          | ↓                | 2.8 |
| 4月         | 146,719           | △3.5         | 20,646  | 1.7          | 1.00             | 1.24 | 33,194          | △3.1         | 826,706 | 3.3          | ↑                | 2.9 |
| 5月         | 155,566           | 13.8         | 12,421  | 8.5          | 1.01             | 1.22 | 31,719          | 3.7          | 803,636 | 7.2          | 3.4              | 3.1 |
| 6月         | 136,937           | 22.5         | 15,185  | △0.6         | 1.04             | 1.26 | 32,097          | 0.7          | 848,070 | 6.3          | ↓                | 2.8 |
| 7月         | 94,942            | △2.1         | 12,888  | △5.4         | 1.09             | 1.31 | 32,317          | △3.4         | 820,352 | 3.3          | ↑                | 2.8 |
| 8月         | 71,745            | 3.8          | 11,494  | △7.9         | 1.10             | 1.35 | 32,017          | 1.8          | 842,763 | 6.8          | 3.2              | 2.8 |
| 9月         | 55,941            | 3.5          | 13,191  | △10.4        | 1.15             | 1.38 | 34,088          | 3.0          | 883,875 | 6.1          | ↓                | 2.8 |
| 10月        | 48,772            | 15.6         | 11,712  | 3.9          | 1.16             | 1.41 | 34,434          | 4.8          | 899,104 | 6.9          |                  | 2.8 |
| 11月        | 25,411            | 22.4         | 8,633   | 5.0          | 1.18             | 1.46 | 29,965          | 2.8          | 825,568 | 6.5          |                  | 2.7 |
| 資料         | 北海道建設業信用保証(株)ほか2社 |              |         |              | 厚生労働省<br>北海道労働局  |      | 厚生労働省<br>北海道労働局 |              |         |              | 総務省              |     |

■年度および四半期 ■年度及び四半期の数値は、月平均値。■年度の数値は四半期の平均値。

| 年月         | 消費者物価指数 (生鮮食品除く総合) |              |         |              | 企業倒産件数<br>(負債総額1,000万円以上) |              |        |              | 円相場<br>(東京市場) | 日経平均<br>株価 |
|------------|--------------------|--------------|---------|--------------|---------------------------|--------------|--------|--------------|---------------|------------|
|            | 北海道                |              | 全国      |              | 北海道                       |              | 全国     |              |               |            |
|            | 27年=100            | 前年同<br>月比(%) | 27年=100 | 前年同<br>月比(%) | 件                         | 前年同<br>月比(%) | 件      | 前年同<br>月比(%) | 円/ドル          | 円<br>月(期)末 |
| 2013年度     | 97.5               | 1.2          | 97.2    | 0.8          | 333                       | △22.9        | 10,536 | △10.1        | 100.23        | 14,828     |
| 2014年度     | 100.4              | 3.0          | 100.0   | 2.8          | 291                       | △12.6        | 9,543  | △9.4         | 109.92        | 19,207     |
| 2015年度     | 99.8               | △0.5         | 100.0   | 0.0          | 265                       | △8.9         | 8,684  | △9.0         | 120.13        | 16,759     |
| 2016年度     | 99.6               | △0.2         | 99.7    | △0.2         | 279                       | 5.3          | 8,381  | △3.5         | 108.37        | 18,909     |
| 2016年 7～9月 | 99.4               | △0.9         | 99.6    | △0.5         | 74                        | △3.9         | 2,087  | △0.2         | 102.40        | 16,450     |
| 10～12月     | 99.7               | △0.4         | 99.8    | △0.3         | 63                        | 6.8          | 2,086  | △3.1         | 109.32        | 19,114     |
| 2017年 1～3月 | 99.8               | 1.0          | 99.6    | 0.2          | 79                        | 16.2         | 2,079  | △3.0         | 113.60        | 18,909     |
| 4～6月       | 100.4              | 1.0          | 100.2   | 0.4          | 74                        | 17.5         | 2,188  | 2.8          | 111.06        | 20,033     |
| 7～9月       | 100.6              | 1.2          | 100.2   | 0.6          | 59                        | △20.3        | 2,032  | △2.6         | 111.01        | 20,356     |
| 2016年 11月  | 99.7               | △0.5         | 99.8    | △0.4         | 21                        | 40.0         | 693    | △2.5         | 108.18        | 18,308     |
| 12月        | 99.9               | 0.1          | 99.8    | △0.2         | 20                        | △9.1         | 710    | 1.6          | 115.95        | 19,114     |
| 2017年 1月   | 99.7               | 0.9          | 99.6    | 0.1          | 17                        | △10.5        | 605    | △10.4        | 114.73        | 19,041     |
| 2月         | 99.7               | 1.1          | 99.6    | 0.2          | 26                        | 18.2         | 688    | △4.8         | 113.06        | 19,119     |
| 3月         | 99.9               | 1.1          | 99.8    | 0.2          | 36                        | 33.3         | 786    | 5.4          | 113.01        | 18,909     |
| 4月         | 100.3              | 1.1          | 100.1   | 0.3          | 22                        | △4.3         | 680    | △2.2         | 110.06        | 19,197     |
| 5月         | 100.4              | 1.1          | 100.3   | 0.4          | 29                        | 61.1         | 802    | 19.5         | 112.21        | 19,651     |
| 6月         | 100.6              | 1.1          | 100.2   | 0.4          | 23                        | 4.5          | 706    | △7.5         | 110.91        | 20,033     |
| 7月         | 100.4              | 1.1          | 100.1   | 0.5          | 23                        | △23.3        | 714    | 0.3          | 112.44        | 19,925     |
| 8月         | 100.6              | 1.3          | 100.3   | 0.7          | 16                        | △30.4        | 639    | △12.0        | 109.91        | 19,583     |
| 9月         | 100.7              | 1.2          | 100.3   | 0.7          | 20                        | △9.1         | 679    | 4.6          | 110.68        | 20,356     |
| 10月        | 101.0              | 1.4          | 100.6   | 0.8          | 20                        | △9.1         | 733    | 7.3          | 112.96        | 22,012     |
| 11月        | 101.2              | 1.5          | 100.7   | 0.9          | 27                        | 28.6         | 677    | △2.3         | 112.92        | 22,725     |
| 資料         | 総務省                |              |         |              | (株)東京商工リサーチ               |              |        |              | 日本銀行          | 日本経済新聞社    |

■年度及び四半期の数値は、月平均値。

■円相場は対米ドル、インターバンク中心相場の月中平均値。



北海道のキャッチフレーズ

## その先の、道へ。北海道

北海道には様々な可能性が広がっていること、そして、北海道が未来や世界に積極的に進んでいこうとする動きを表現した言葉です。また、道外や海外の方々に、北海道らしい風景をイメージしていただき、この魅力溢れる北海道に「ぜひ来てください」と呼びかけるフレーズでもあります。ぜひ、ご活用ください。

英語版

## Hokkaido. Expanding Horizons.

日本語のキャッチフレーズ「その先の、道へ。北海道」に込められた思いを、海外の方々にも分かりやすく伝えるために作成しました。

参考 「Expanding」=広がっていく、「Horizon」=地平線・水平線であるが、この英訳版では「Horizons」と複数形で使用することで、「広がっていくホライズン」は1つだけではないことを意味している。  
「Horizon」は、地平線・水平線のほかに、「(知識、興味などの)視野、展望」という意味もある。

お問い合わせ先

北海道総合政策部知事室広報広聴課  
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目  
TEL : 011-204-5111 FAX : 011-232-3796  
E-mail : koho.kikakuc2@pref.hokkaido.lg.jp

北海道の広報 検索

Instagram × 北海道

「#北海道ミライノート」

でお気に入りの北海道を投稿してください。

ウェブサイト「北海道ミライノート」

<https://mirai-note.jp/>



その先の、道へ。北海道  
Hokkaido. Expanding Horizons.  
2013年は北海道創設150年



---

ほくよう調査レポート 2018.2月号(No.259)  
平成30年(2018年)1月発行  
発行 株式会社 北洋銀行  
企画・制作 株式会社 北海道二十一世紀総合研究所 調査部  
電話 (011)231-8681

<本誌は、情報の提供のみを目的としています。投資などの最終判断は、ご自身でなされるようお願いいたします。>